

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011001	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (M1)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	廣江 顕		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	廣江 顕		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	廣江 顕		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	M1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	論理的に大意を素早く日本語でまとめる訓練を行う。		
授業到達目標/Goal	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業の前半では、リスニングテストを行い、その後、解答・解説を行う。後半では、テキストを用いてreadingに特化した、論理的に大意をつかむ訓練を行う。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	rapid reading, listening, e-learning materials		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『ニュースとエッセイで読む健康、自然、生命』、英宝社、1800円(税別)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	リスニング(20%), 3Step CALL System(10%), Power Words(10%), G-TELP(20%), 定期試験(40%)		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction, sample listening test, e-learning教材の説明		
第2回	Listening 1, テキストUnit3		
第3回	Listening 2, テキストUnit5		
第4回	Listening 3, テキストUnit8		
第5回	Listening 4, テキストUnit11		
第6回	Listening 5, テキストUnit12		
第7回	3Step小テスト(1)(約30分程度), テキストUnit15		
第8回	DVD教材(1), Dictation		
第9回	DVD教材(2), Dictation		
第10回	Listening 6, テキストUnit2		
第11回	Listening 9, テキストUnit4		
第12回	3Step小テスト(2), テキストUnit6		
第13回	Listening 10, テキストUnit7		
第14回	G-TELP		
第15回	まとめ, テキストUnit12		
第16回	定期試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011002	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (M2)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	宇佐美 康子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	宇佐美 康子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	宇佐美 康子		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟32		
対象学生(クラス等) / Object Student	M2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	usamikan@fsinet.or.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>今まで培ってきた一文一文を正確に読む力(精読力)を保持しつつ、ある程度まとまった量の英文を、ある程度速く読んで、ある点についての情報をできるだけ正確に取る、或いは、大意を取る力(速読力)を育てる。英語文章の構成を学び、段落ごとの要点と段落間の関係を取る練習をする。また、聴解の活動を通して、英語によるオーラルコミュニケーションの基礎を強化する。</p> <p>現在多くの分野において、第一線の情報は、英語経由で最も早く詳しく数多く手に入る傾向にある。その現状を前提に、実践で役立つような英語の読解力の向上を目指す。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>テキスト程度の英文をある程度の速さで読み、必要な情報を探せ、ある程度の大意が取れること。必要な場合は、正確な英文理解のために基本文法が適用でき、正確に意味が取れること。文脈に応じて語彙の解釈ができること。日本語を介せずに英文が理解できること。基本的な英語を、聞いて理解できること。</p>		
授業方法(学習指導法) / Method	演習形式		
授業内容/Class outline/Con	<p>各ユニット400語程度の20ユニットから成る Reading Pass 3, Second Edition をテキストに用い、世界中の興味深い話題について読む。前半は毎回1ユニット、後半はスピードを上げ毎回2ユニットを目標に読む。14回の授業の初めの4回は精読を中心に、その次の2回は文章全体の構造に注目して速読の準備をし、その後の4回は速読を中心に、最後の4回は2種類のスキルの両方をバランスよく組み合わせて使えるように演習を行う。</p> <p>授業の最初は、英作文、或いは英単語の小テストを行う。テスト範囲は、毎回指定する。その後、リーディングの演習をする。(学生は指示された範囲や内容を、音読を含め必ず家庭で予習して授業に参加すること。各文の意味を取る、或いは、各英単語の音を確認するだけでなく、英語のリズムとスピードで音読できることは、将来、ある程度のまとまった量のある程度の速さで読むためには大切なので、音読を軽視しないこと。)音読する、必要な情報を抜き出す、大意を取る、文法を確認する、精読する、などを行う。テキストにある設問を適宜利用する。</p>		
キーワード/Key word	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、パラグラフリーディング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Reading Pass 3, Second Edition, Andrew E. Bennett, Nan'un-Do, CD付, 2300円+税		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	G-TELP 20%、課外学習のe-learning 20%(3 Step-CALL 10%、Power Words 10%)、定期試験45%、小テスト約10%、授業への参加等約5%。 課外学習の e-learning に関しては第1回目の授業の際に説明する。		
受講要件(履修条件) / Requirements	全回出席が原則。第一回目の授業の初めに教室で教科書を購入するので、代金を忘れずに。		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	<p>毎回小テストをします。これは前回の授業の復習になり、好評です。予習して授業に臨むことが原則です。</p> <p>英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要です。英語が苦手な学生もいると思いますが、努力すれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。</p>		

授業計画詳細	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション、 Unit 1 Pro Gaming
第2回	Unit 2 The Blogosphere
第3回	Unit 3 Organic Food
第4回	Unit 4 Franchises
第5回	Unit 5 Character Culture
第6回	Unit 6 Language Change
第7回	3step小テスト(15分程度) Unit 7 Unlocking Motivation
第8回	Unit 8 Yellow Dust Storms
第9回	Unit 9 The End of Privacy Unit 10 Going Carbon Neutral
第10回	Unit 11 Retro Style Unit 12 It pays to be the CEO
第11回	Unit 13 London Unit 14 Web 2.0
第12回	3step小テスト(15分程度) Unit 15 Troubled Stars Unit 16 Insourcing
第13回	Unit 17 Space Colonies Unit 18 Office Gossip
第14回	G-TELP テスト
第15回	Unit 19 Lost Arts Unit 20 Stem Cells
第16回	期末テスト

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011003	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (M3)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	濱崎 大		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	濱崎 大		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	濱崎 大		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟14		
対象学生(クラス等) / Object Student	M3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mohican007@hotmail.com		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	単位に関するお問い合わせは、事務を通して行ってください。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	非常勤講師室在中可 月・金 昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	リーディングを中心に必要な構文をより多く学ぶ機会を増やし、日本語訳、英語訳の対応力をつけていきます。また、意識の方法を学びながら、判断力、応用力をつけていきます。		
授業到達目標/Goal	日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようになります。同時に、英語力だけではなく教科書の内容から得る事ができる情報も、知識人として必要なものになります。また、先に来る情報収集の際に必要な論文の読み方もしっかりとした目標にすえていきます。		
授業方法(学習指導法)/Method	受講生に回答の機会を与えて、日本語とは違う英語を自然に理解できるように講義を進めていきます。受講生は受動的な姿勢ではなく、自発的で積極的な姿勢が必要です。		
授業内容/Class outline/Con	Unitの内容にそって、受講生に発言の機会を出来るだけ多く設けて進めていきます。テーマは幕末の長崎について多く取り上げられているTextですが、Phrase Reading、Skimming-Scanningや意識の仕方、また、多種多様な単語、会話表現など、大学生に必要なSkillをTextで習得して行きます。Listeningにおいては、大学が提供している3stepやPowerWordsを日常の取り組みとします。		
キーワード/Key word	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、読解力、先生離れへの助長		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan 英光社 各自持っている参考書、辞書(英和、和英)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	Class Attendance and Participation: 15% (講義中の睡眠、携帯の操作等はマイナス態度) G-TELPテスト 20% 課外学習のe-learning 20% (3 Step CALL 10%、PowerWords10%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。 Final Examination 45%		
受講要件(履修条件)/Requirements	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為は大人のモラルをもって自重してください。(スマートフォンの操作等) 目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。無断欠席回数が1/3以上でClass Attendance and Participationを0%と致します。		
学生へのメッセージ/Message for students	G-TELPテストに関する詳細は、担当教員により授業時に説明が行われます。また、掲示にもよく注意しておいてください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	10/2 第1回 Introduction		
第2回	10/9 第2回 Unit 1 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (1)		
第3回	10/16 第3回 Unit 2 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (2)		
第4回	10/23 第4回 Unit 3 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (1)		
第5回	10/30 第5回 Unit 4 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (2) ~ 10/30 PowerWords 1回目締切り		
第6回	11/6 第6回 Unit 5 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1)		

第7回	11/13 第7回 Unit 6 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2) 3step 小テスト
第8回	11/20 第8回 Unit 7 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3)
第9回	11/27 第9回 Unit 8 Fat The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4) ~ 11/27 PowerWords 2回目締切り
第10回	12/4 第10回 Unit 9 The Introduciton of Western-Style Chemistry and Pharmacy
第11回	12/11 第11回 Unit 10 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (1)
第12回	12/18 第12回 Unit 11 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (2) 3step 小テスト
第13回	12/25 第13回 Unit 12 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (3)
第14回	1/8 第14回 G-TELP
第15回	1/22 第15回 Unit 13 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan:Steam Factory Nagasaki 1856 ~ 1/22 PowerWords 3回目締切り
第16回	1/29 第16回 Final Examination

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011004	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (M4)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	村岡 三奈子		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	村岡 三奈子		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	村岡 三奈子		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟31		
対象学生 (クラス等) / Object Student	(M4)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	muraoka@n-junshin.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel	095-846-0084		
担当教員オフィスアワー / Office hours	随時		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	映画を教材として、場面や状況に応じた生きた英語表現を身につけることを目指す。		
授業到達目標 / Goal	基本的構文および文法事項に留まらず、生きた英語表現や文化的知識を身につけることが出来る。		
授業方法 (学習指導法) / Method	原則として、毎週、テキストを1章ずつ進めながら、英語の4技能をバランスよく学習する。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	Comprehensive English		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Dead Poets Society (TSURUMI SHOTEN)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	小テスト : 10% Discussion 課題 : 10% G-TELP : 20% 定期試験 : 40% 課外学習の e-learning : 20% (詳細は第1回目の授業で説明)		
受講要件 (履修条件) / Requirements	特になし		
学生へのメッセージ / Message for students	毎回、授業のはじめに単語クイズをしますので、テキストの該当箇所を予習して臨んでください。		
授業計画詳細			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	10月 1日 : インTRODククション / 第1章		
第2回	10月 8日 : 第2章		
第3回	10月15日 : 第3章		
第4回	10月22日 : 第4章		
第5回	10月29日 : 第5章		
第6回	11月 5日 : 第6章		
第7回	11月12日 : 第7章 / 3-step 小テスト		
第8回	11月19日 : 第8章		
第9回	11月26日 : 第9章		
第10回	12月 3日 : 第10章		
第11回	12月10日 : 第11章		
第12回	12月17日 : 第12章 / 3-step 小テスト		
第13回	12月24日 : 第13章		
第14回	1月 7日 : G-TELP		
第15回	1月14日 : 第14章		
第16回	1月28日 : 定期試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/01/14		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011005	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (M5)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	奥田 阿子		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	奥田 阿子		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	奥田 阿子		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟32		
対象学生(クラス等) / Object Student	M5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a-okuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	授業外ではインプットを重視したリスニングを行い、授業中にはアウトプットを重視した活動を取り入れる。		
授業到達目標/Goal	情報収集を行ったものに対し、英語を用いて相手に伝えられるようになること。 自分に合った英語の学習法を見つけること。		
授業方法(学習指導法)/Method	反転授業を取り入れた授業を行う。 授業で扱う内容は授業前に学習し、内容理解をしておく。授業中は、その内容を発展させた活動を取り入れ、グループでの発表に備えた作業を行ってもらいながら英語の運用能力の養成を図ります。		
授業内容/Class outline/Con			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	3-Step CALL System (e-learning)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト: 15%</li> <li>・期末試験: 15%</li> <li>・提出物、グループワークの成果物: 30%</li> <li>(自分たちでの評価、他グループからの評価、教員からの評価等)</li> <li>・G-TELP: 20%</li> <li>・e-learning: 20%</li> <li>(PowerWords 10%: 単語の教材のレベルを1上げること 3-Step CALL System 10%: 2回のUNITテスト)</li> </ul>		
受講要件(履修条件)/Requirements			
学生へのメッセージ/Message for students	リスニング力を上げるためには、毎日少しの時間でも英語を耳にする時間を作りましょう!!		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション 教材の説明、成績についての説明 グループ作り アンケートの実施		
第2回	英語の学習方法について考える プリント教材		
第3回	英語の学習方法について考える プリント教材		
第4回	心配について考える プリント教材		
第5回	心配について考える プリント教材		
第6回	心配について考える プリント教材		
第7回	3-STEP小テスト 1回目 発表準備		
第8回	発表		

第9回	発表の振り返りと他グループの評価
第10回	動画や資料を通して、意思力について理解し、自らの学習に応用できるか考える プリント教材
第11回	動画や資料を通して、意思力について理解し、自らの学習に応用できるか考える プリント教材
第12回	3-STEP小テスト2回目 10回、11回の授業で得た情報をもとに発表準備を行う
第13回	G-TELP
第14回	発表
第15回	発表の振り返りと他グループの評価 まとめ
第16回	期末テスト



学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011006	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (M6)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	池田 俊也		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	池田 俊也		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	池田 俊也		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育B棟15		
対象学生(クラス等) / Object Student	(M6)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-ikeda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部本館6階(621号室)		
担当教員TEL/Tel	819-2092		
担当教員オフィスアワー/Office hours	在室時随時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>総合英語 で習得した総合的な英語の力をさらに伸ばすこと。とりわけ、reading, writing, listening, speaking の4技能のうち、reading と listening に重点を置き、毎回授業内容に関する定着率アップのための練習を行う。</p> <p>reading 指導では、内容に応じて、'oral reading' 及び 'bottom up' と 'topdown' による読解法理論の実践を行う。</p> <p>listening指導では、テキスト各ユニット内容を問う練習問題で聴解力の向上を目指し、同時にe-learning自学教材活用で効果的な習得を涵養する。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>要点を的確につかみ取る英語読解力と英語聴解力を身につけること。</p> <p>e-learningなどの教材を活用して、自学への積極性を持つようになること。</p>		
授業方法(学習指導法)/Method	<p>内容に応じて、'paragraph reading' による速読の訓練を行う。内容としてはup-to-date なエッセイを読むが、Unit 毎の内容理解の確認を練習問題を通して行う。読解の要点は学生各自の発表の形でやってもらう。</p> <p>あわせて、e-learning の効果的な活用を通して、聴解力の向上を図る。</p>		
授業内容/Class outline/Con	16回目 定期試験		
キーワード/Key word	速読、効果的な英文読解		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Ian Bowring et al., Our Planet in the Universe, 成美堂		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<p>教員評価部分【期末筆記試験及び小テストの結果(60%)と授業中の発表・授業への取り組み方など総合的に評価する。】</p> <p>平成25年度後期の総合英語IIの評価は、各教員の評価を60%とし、共通英語学力テストG-TELPの成績、e-learning 活用を20%とし、総合的に行なわれます。</p>		
受講要件(履修条件)/Requirements	<p>「定められた履修規定の課外自学(3step, Power word)を、期日までに確実にすること。</p> <p>予定の Unit の予習をすませてから授業に臨むこと。」を条件とします。</p>		
学生へのメッセージ/Message for students	<p>G-TELPのテストは、原則として授業の13回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。</p>		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	<p>授業の概要説明。クラスで学ぶことなど。以下の大まかな順番で授業を進める。各ユニットは読解テキストの内容タイトル</p> <p>第1回: Unit 1, Evidence of a Violent Planet</p>		
第2回	<p>第2回: Unit 2, The Ocean's Rise and Fall</p> <p>干潮と満潮のしくみを知る</p>		
第3回	<p>第3回: Unit 3, Oceans of Plastic</p> <p>大洋のプラスチックゴミを考える</p>		
第4回	<p>第4回: Unit 4, Blue Skies and Rainbows</p> <p>太陽光と虹の関係を知る</p>		
第5回	<p>第5回: Unit 5, Predicting Our Future</p> <p>気候モデルとは何かを考える</p>		

第6回	第6回: Unit 6, The Biggest Mysteries 宇宙の暗黒物質・エネルギーの存在を知る
第7回	第7回: 3Step 小テスト(1) Unit 7, Darwin's Voyage on the Beagle 進化のしくみを考える
第8回	第8回: Unit 8, How Rockets Work 地球の重力から脱出するしくみを知る
第9回	第9回: Unit 9, A Risky Endeavor 宇宙の人体への影響を考える
第10回	第10回: Unit 10, Journey to Saturn 遠方の星の探査のための航法を知る
第11回	第11回: Unit 11, Dangerous Debris 宇宙ゴミへの対応を考える
第12回	第12回: 3Step 小テスト(2) Unit 12, Back from the Brink 絶滅危惧生物種の保護を考える
第13回	第13回: Unit 13, Mendel's Pea Experiment 遺伝子研究の礎となったメンデルの実験につ いて知る
第14回	第14回: G-Telp テスト
第15回	第15回:まとめと質問タイム
第16回	定期試験:形式等については最終授業で説明する。

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011007	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (K1)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古場 なおみ		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	古場 なおみ		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	古場 なおみ		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟31		
対象学生(クラス等) / Object Student	環境(K1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kobaknke@yahoo.co.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	(1)健康問題、食品関係、さらに医療問題を題材にした教材を用い、環境問題と結びつけつつ、生きた英語に触れ、また、語彙、リスニング、読解、TOEIC形式の問題等のエクササイズによって総合的な英語力の向上をはかる。(2)AP通信などのニュース英語に慣れ親しむ。		
授業到達目標/Goal	英字新聞の英語に慣れ、国際的なコミュニケーションの道具としての英語力を身につける。		
授業方法(学習指導法)/Method	講義形式でテキストを進める。		
授業内容/Class outline/Con			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	The Picture of Health (南雲堂)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	教員評価分60%(定期試験60%、小テスト、出席、授業への取り組み40%) G-TELP20%, e-learningの評価 (1)Power Wordsの指定されたレベルの50ユニットを15週で修了すること 10%、(2)3 STEP CALL System を15週で15時間以上学修すること(授業の6回目3step小テスト、授業の12回目3step小テスト) 10%		
受講要件(履修条件)/Requirements	毎回、予習の上で授業に臨むこと。5回欠席(2回遅刻で1回欠席とみなす)で失格とする。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業で指示		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介、授業の進め方、評価等の説明		
第2回	The Picture of Health, Unit 1 (Sushi Demand Creates Idea For Huge Ocean Tuna Farm)		
第3回	The Picture of Health, Unit 1 (Sushi Demand Creates Idea For Huge Ocean Tuna Farm) & Unit 3 (Dutch Ban on Eel Fishing Forces Many Anglers to Fish in the Dark)		
第4回	The Picture of Health, Unit 3 (Dutch Ban on Eel Fishing Forces Many Anglers to Fish in the Dark)		
第5回	The Picture of Health, Unit 5 (Andean Quinoa Grain Emerging as World's Next Healthy Superfood)		
第6回	The Picture of Health, Unit 5 (Andean Quinoa Grain Emerging as World's Next Healthy Superfood) & Unit 6 (Germans Discover Joys of Commuting through Berlin by Bike)		
第7回	3step小テスト1回目 The Picture of Health, Unit 6 (Germans Discover Joys of Commuting through Berlin by Bike)		
第8回	The Picture of Health, Unit 7 (Australian Town Makes Selling Bottled Water Illegal)		
第9回	The Picture of Health, Unit 7 (Australian Town Makes Selling Bottled Water Illegal) & Unit 10 (Threat of Swine Flu Keeping Pilgrims from Holy Mecca)		
第10回	The Picture of Health, Unit 10 (Threat of Swine Flu Keeping Pilgrims from Holy Mecca)		
第11回	The Picture of Health, Unit 13 (Malaysia Releases Short-lived Mosquitoes in War on Dengue Fever)		
第12回	3step小テスト2回目 The Picture of Health, Unit 13 (Malaysia Releases Short-lived Mosquitoes in War on Dengue Fever) & Unit 15 (Chess Boxing Provides Ultimate Test of Brains and Brawn)		
第13回	Unit 15 (Chess Boxing Provides Ultimate Test of Brains and Brawn)		

第14回	G-TELP
第15回	The Picture of Health, Review
第16回	期末試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 1
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011008	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (K2)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	生田 和也		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	生田 和也		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	生田 和也		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟41		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ikuta@sun.ac.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後30分に、非常勤控室か授業教室にて。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語ニュースの視聴を通して、主に「読む」、「聴く」能力を養成します。また必要に応じて文法事項の確認もします。		
授業到達目標/Goal	(1) 英語ニュースの映像、音声、原稿による学習を通して、英語による情報取得能力を向上する。 (2) 聞き取りや書き取りを通して、英語リスニング力向上のための技術を得る。		
授業方法(学習指導法)/Method	基本的にテキストに沿って授業を行います。毎回の授業には予習範囲があり、授業はじめの小テストで予習の確認をします。		
授業内容/Class outline/Con	実際に方法された英語ニュースを用いる授業であるが、単語やフレーズの確認、ニュースの聞き取りや書き取りを行うことで、段階的に英語による情報取得能力を養う。また利用するビデオ教材は現在の日本社会を扱ったニュース映像であることから、英語を学ぶと同時に見識を広げる機会となる。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	What's on Japan 9 / 金星堂 編著者: 山崎達朗, Stella M. Yamazaki ISBN: 978-4-7647-3994-9		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	教員評価 60% (予習度テスト 20%、試験 30%、授業態度 10%) G-TELP 20 % E-Learning 20% (Power Words 10%、3 Step 小テスト2回 10%)		
学生へのメッセージ/Message for students	授業では一番最初に予習範囲のテストを行いますので、遅刻をしないように。E-Learningと合わせて、毎週しっかりと準備をしてきてください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション Box Stars		
第2回	小テスト Tearing Down Language Barriers		
第3回	小テスト Punching Back		
第4回	小テスト Walking Up Sleeping Patents		
第5回	小テスト Traditional Japanese Cuisine		
第6回	小テスト The Cost of Convenience		
第7回	3step小テスト1回目 進度に応じたテキスト補充		
第8回	小テスト New Look at Old Clothes		
第9回	小テスト Operating Rooms on Wheels		
第10回	小テスト Off the Tourist Trail		
第11回	小テスト Blindness No Barrier		

第12回	3step小テスト2回目 進度に応じたテキスト補充
第13回	G-TELP 進度に応じたテキスト補充
第14回	小テスト Against the Grain
第15回	小テスト Healthy Workers Paying Off
第16回	試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 1
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011009	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (K3)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	光野 百代		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	光野 百代		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	光野 百代		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟32		
対象学生(クラス等) / Object Student	K3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mmitsuno@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜 2限		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業は、基礎的な英語での論理展開方法を学びながら、リーディング、リスニング、ライティング、スピーキングの技能を統合して上達させることに重点を置きます。		
授業到達目標/Goal	コミュニケーション能力を習得するために、英語の論理展開を理解し、語彙や論理的思考、英語の表現を使用する技能を獲得し、英語学習に関心と自信と持つことを目標とします。		
授業方法(学習指導法)/Method	教科書の文章問題を解きながら、英語の論理展開の方法を確認していきます。また、コミュニケーション能力の習得に必要な、語彙の獲得や英作文の練習も行う予定です。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	コミュニケーション技能、クリティカルシンキング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Critical thinking: language skills for clear communication 朝日出版 1700円 英語の辞書 必要に応じてハンドアウトを適宜配布。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	G - TELP (20%) E - Learning (20%)、授業活動・課題への積極的参加 (20%)、期末試験 (40%)		
受講要件(履修条件)/Requirements	基本的に授業には毎回遅れないように出席して下さい。授業を5回以上欠席した場合は成績評価の対象としません。また、2回の遅刻で1回の欠席とカウントしますので注意してください。最初の授業は、この授業の計画を説明するので必ず出席してください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	introduction		
第2回	unit1		
第3回	unit1		
第4回	unit2		
第5回	unit2		
第6回	unit3		
第7回	unit3 3 Step小テスト		
第8回	unit4		
第9回	unit4		
第10回	unit5		
第11回	unit5		
第12回	unit6 3 Step小テスト		
第13回	G-TELP試験		
第14回	unit6		
第15回	Review		
第16回	期末試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011010	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (L(英1))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	稲田 俊明		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	稲田 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	稲田 俊明		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟24		
対象学生(クラス等) / Object Student	L(英1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	inadat@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2379		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜2限(事前にメールで連絡すること)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語の読解力と日本語・英語による要約する能力を養う。 課題について英語で論述する力を養う。 英文のリスニングの能力を養う。		
授業到達目標/Goal	英語の論説やニュース記事について、日本語で簡潔に要約ができるようになる。 英語の論説やニュース記事について、英語で要約ができるようになる。 課題について、英語で議論するための基礎的なライティング能力を身に付ける。		
授業方法(学習指導法)/Method	指定した教材により、英文の読解、要約、聞き取りを行う。 毎週、語彙テストを行い、隔週、課題の提出を求める。		
授業内容/Class outline/Con			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教材は授業で配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	G-TELP 20% 指定する e-learning 教材 20% 授業中の課題 10%、 期末テスト 50%		
受講要件(履修条件)/Requirements	同クラスの履修経験のないもの		
学生へのメッセージ/Message for students	事前に、教材と指定された課題を十分に学修しておくこと。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	COURSE OUTLINE (導入): 教材配布		
第2回	英文速読教材(1)		
第3回	英文速読教材(2)		
第4回	Listening Comprehension Quiz (第1回)		
第5回	英文要約教材(1)		
第6回	英文要約教材(2)		
第7回	3-STEP 小テスト(1) Listening Comprehension Quiz (第2回)		
第8回	英語要約課題(3)		
第9回	英語要約課題(4)		
第10回	Listening Comprehension Quiz (第3回)		
第11回	英文交渉メールの基礎と練習		
第12回	3-STEP 小テスト(2) 英語課題作文練習(1)		
第13回	G-TELP (Test)		
第14回	英語課題作文練習(2)		



第15回	英語プレゼンテーション
第16回	期末試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011011	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (L(英2))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西原 俊明		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	西原 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	西原 俊明		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	(L2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター110		
担当教員TEL/Tel	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、リスニング教材・リーディング教材として時事英語にふれる。		
授業到達目標/Goal	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。また、日本語直訳によらない英語表現、特に、Plain Englishの基礎を身につける。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。医学的な話題を扱った英字新聞記事を速読する。		
授業内容/Class outline/Con	英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。		
キーワード/Key word	Reading and listening strategies		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Better Health for Every Day (金星堂)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	評価は、G-TELP(20%)、e-learning学習(3Step Listening + Power Words)(20%)、小テスト(50%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。3Stepを用いてのe-Learning学習は、2回のテストでもって評価し、Power Wordsはレベルを一つ上げる学習を10%とする。小テストは医学英語表現を対象として毎回行う。		
受講要件(履修条件)/Requirements	毎回、復習を行うこと。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業で紹介される聞き取りのこつ等を配布される電子化教材を用いて必ず復習すること。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	9月30日 第1回 オリエンテーション 授業の進め方、及び授業で取り上げるスキルの概要説明		
第2回	10月7日 第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1), Fuel your body and mind.		
第3回	10月14日 第3回 Voice Aerobics, Laughing will save you from going crazy.		
第4回	10月21日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1), The French Paradox		
第5回	10月28日 (Power Words1回目締め切り) 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2), Don't stay away from natto. 10月30日 (Power Words1回目締め切り)		
第6回	11月4日 第6回 弱く発音される音, Is snoring a bad sign?		
第7回	11月11日 3STEP小テスト, 第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1), 映画による聞き取り(1),		

第8回	11月18日 第8回 聞こえなくなる音, Getting a good night sleep is a challenge., 速読(2)
第9回	11月25日 第9回 インフォメーションギャップによる <sup>h</sup> アワーク(2) (11月27日 Power Words2回目締め切り)
第10回	12月2日 第10回 グループによるディスカッション(1), 速読(3), Chocolate and its magical power.
第11回	12月9日 第11回 なくなる音, 速読(4), Processed Food.
第12回	12月16日 (3STEP小テスト) 第12回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによる <sup>h</sup> アワーク(3), Environment Health Threats.
第13回	1月6日 G-TELPテスト
第14回	1月13日 第13回 つながる音, Genetically modified food., 速読(5)
第15回	1月20日 第14回 速読(6) まとめ Retellingとsummarizing、semantic mapを用いた学習 1月22日 (Power Words 3回目締め切り)
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011012	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (L(英3))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松元 浩一		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松元 浩一		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松元 浩一		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟41		
対象学生(クラス等) / Object Student	教育L3[ ]習熟度別)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kmat@		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部本館617号室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日12:00 ~ 12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	(1) TOEIC, TOEFL等の読解テストにも役立つように英文を正確に読み(精読), 早く読み解くこと(速読)ができる。 (2) 英文中の重要な語句や表現を習得し, 英語による表現(英作文・英会話)にも応用できる。		
授業到達目標/Goal	TOEICの読解力問題で70% ~ 80%くらいの正解を得ることができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	(1) 演習形式とする。受講者全員があらかじめ指定された箇所の語句や表現の意味を調べ, 英文の内容を発表できるように予習する。授業ではこちらが無作為に指名するので, 担当者は当てられた箇所を予習をもとに発表する。 (2) 着実に読解力をつけるために確認テストを2~3回行う。 (3) おりにふれてリスニングの訓練も行う(ただし本コースの主たる目的は読解力の養成である)		
授業内容/Class outline/Con	読解力を高めたいのに実力がつかない, 教科書の英文は退屈だと思っている学生も楽しく学べるように, テクストの素材は, 内容が豊かで, 平易・明快な物語とエッセイにしぼり, 注釈はもちろん, 英文法ガイドも設けられている教科書を用意した。存分に読み込んで学習してもらいたい。		
キーワード/Key word	読解力(精読・速読), 表現力		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Hearn, Keller, Dick, and Lynd. Reading English Step by Step. 音羽書房鶴見書店。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	(1) 授業内容に関する確認テスト第1回~3回の成績 60% (2) G-TELPテスト 20% (3) 課外学習のe-learning 20% (この点に関しては第1回目の授業時に説明する) (4) 「便覧」にあるとおり, 授業総回数の3分の1以上欠席した学生は受験資格を認めない。		
受講要件(履修条件)/Requirements	学生便覧を参照。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業時には毎回英和辞書を(可能ならば英英辞書も)持参すること。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	授業の進め方, 評価の説明, 教科書の説明, 単元 Hearn, "A Dead Secret" (1)		
第2回	"A Dead Secret" (2)		
第3回	Hearn, "Yukionna" (1), リスニング練習		
第4回	"Yukionna" (2)		
第5回	授業確認テスト第1回, リスニング練習, "Yukionna" (3)		
第6回	3 Step小テスト		
第7回	Hearn, "Oshidori" (1)		
第8回	"Oshidori" (2), リスニング練習		
第9回	Keller, "The Story of my Life" (1)		
第10回	授業確認テスト第2回, リスニング練習, "The Story of my Life" (2)		
第11回	"The Story of my Life" (3)		
第12回	3 Step小テスト, "The Story of my Life" (4)		
第13回	G-TELPテスト		
第14回	Dick, "The Cookie Lady" (1)		

第15回	"The Cookie Lady" (2)
第16回	"The Cookie Lady" (3) 確認テスト第3回 (期末テスト), リスニング練習

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011013	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (L(英4))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	有吉 由紀		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	有吉 由紀		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	有吉 由紀		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟13		
対象学生(クラス等) / Object Student	L(英4)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	akinatsuhana@gmail.com		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水4の授業の前 非常勤講師控室		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	グローバル化が進む社会の中で、外国人と英語による情報交換をする機会が増えることが想定されます。そこで、本クラスでは、情報伝達に必要な基礎的な英文メールの書き方を学びます。テキストの中のさまざまな便利な表現法を学ぶとともに、それらを応用して情報を伝達する基礎訓練を行います。さらに、副教材を用いて、英語を使う面白さと意義を知り、学習意欲を高めていきます。		
授業到達目標/Goal	教科書の中に紹介されているトピックスにしたがって、状況に応じた英文メールの書き方を学び、様々な表現を覚えて身につけていきます。 具体的には、テキストの予習・授業・復習をすることで下記を到達目標とします： (1) テキストと副教材による英文メールの内容が理解できる。(reading:内容把握) (2) 授業で扱う英文メールをテキスト付属の英語音声で聞いて、書き取れるようになる。(listening & dictation) (3) 教科書にでてくる実践的英語表現をマスターする。(writing) (4) 身につけた表現の音読練習をし、英語のリズム、アクセントなどの音声の特徴を学び、英語をより身近なものとして感じとる。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業はテキストと副教材を使いながら進めていきます。各ユニットの英文メールに関する演習 exercise A から Cを予習しておいてください。授業では英文メールの音読練習、dictationおよび応用writingの練習を中心に進めていきます。 また、副教材を用いて、生きた英文メールより必要な情報を読み取る練習もします。毎回授業内に小テストを行います。		
授業内容/Class outline/Con	e-learningとpower words level 3 は基本的に家庭学習となります。 テキストの中の英文メールに必ず目を通し、演習AからCまでをしてきてください。 毎回、小テストを行います。 ノートパソコン必携です。		
キーワード/Key word	Eメールの書き方：ライティング、リスニング、リーディング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書(テキスト)： "An Introductory Course in Writing College English - E-Mail" (南雲堂出版)1700円+税 教材：プリント教材 授業中に配布します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	成績評価は、 G-TLP 20%、e-learning 20%、 定期試験40%、授業内テスト20%で行います。		
受講要件(履修条件)/Requirements	全回出席が原則です。ノートパソコン必携		
学生へのメッセージ/Message for students	この授業を受けることで、英語で書くことに慣れ親しみ、自信をつけましょう。writing技能を高めると同時にlistening, speaking, reading技能を同時に高めていきます。毎回の授業の予習、授業中の基礎練習と応用演習にしっかり取り組んでください。教科書、ノートパソコン必携です。		
授業計画詳細			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	教科書Unit 1-2 「自己紹介」と「感謝の気持ちを伝える」		
第3回	教科書Unit 3-4 「励まし」と「お祝いを述べる」		
第4回	教科書Unit 5-6 「心配している気持ちを表す」「案内状」		

第5回	教科書Unit 7-8 「お詫びを述べる」「お誘い」
第6回	教科書Unit 9-10 「アドバイスを求める」「提案」
第7回	3Step小テスト1回目 復習テスト 教科書unit 1-10
第8回	教科書Unit 11-12 「提案」「お願い」
第9回	教科書Unit 13-14 「アポをとる」「贈り物をする」
第10回	教科書Unit 15-16 「説明を求める」「丁寧な依頼」
第11回	教科書Unit 17-18 「質問」「ネット・ショッピング」
第12回	3Step 小テスト2回目 副教材による演習
第13回	G-TELP 試験
第14回	教科書Unit 19-20 「苦情を述べる」「航空券の予約」
第15回	復習テスト 教科書Unit 11-20
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011014	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (L(英5))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	稲毛 逸郎		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	稲毛 逸郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	稲毛 逸郎		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟22		
対象学生(クラス等) / Object Student	L 英5		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	inage@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	教育学部 6F 618 研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2093		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日 16:10 ~ 17:40		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	高等学校までの英語学習をふまえて、英語の読む・書く・聞く・話すの4技能の能力をさらに伸ばし、総合的な英語運用能力を育成することをねらいとする。		
授業到達目標 / Goal	英語の4技能の訓練を通して、英検準1級程度の試験に合格できる総合的英語力の育成を目標とする。		
授業方法(学習指導法) / Method	英語の会話文の聞き取り練習を基に、書く・話す練習を行い、また、リーディング用教材を用いて、要点を押さえながらできる限り速く読み進める訓練を行う。		
授業内容 / Class outline / Con	16回目 定期試験		
キーワード / Key word	英語の4技能、総合的訓練		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Intermediate Skills for Reading 成美堂		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	期末試験(60%)、G-TELP評価点(20%)、CALL教材への積極的な取り組み状況(20%)を基準に評価する。		
学生へのメッセージ / Message for students	G-TELPのテストは、原則として授業の13回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	受講にあたっての諸注意、授業内容についての導入 Unit 1 Formal Letter Writing: A Dying Art Scanningのスキルについて		
第2回	Unit 2 U.S. Teens: Reading is Interesting Using Titles to Understand Main Ideas (Gist)		
第3回	Unit 3 How Old Is Old Enough Skimming for the Main Idea		
第4回	Unit 4 The History of Hollywood Recognizing Sequence of Events		
第5回	Unit 5 Numbers and Beliefs Identifying Main Ideas within Paragraphs (1)		
第6回	Unit 6 The History of Chocolate Predicting のスキル 及び		
第7回	Unit 7 Breakfast Like a King Inferring のスキル 3step 小テスト実施		
第8回	Unit 8 Oh, No --- Not Another Test! Identifying Main and Supporting Ideas		
第9回	Unit 9 FAQs about Recycling Understanding Main Ideas (Gist)		



第10回	Unit 10 Time for Work, Time for Play Identifying Main Ideas withing Paragraphs (2)
第11回	Unit 11 Netiquette --- Internet Dos and Don'ts Developing Reading Fluency (1)
第12回	Unit 12 Have You Read Any Good Books Lately? Developing Reading Fluency (2) 3step 小テスト実施
第13回	G-TELP 試験実施
第14回	Unit 13 Life Expectations Developing Reading Fluency (3)
第15回	Unit 14 The Oscar Goes to ... Willie Fulgear! Developing Reading Fluency (4) 授業のまとめ
第16回	定期試験実施

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/01/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011015	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (L(英6))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中村 吏花		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	中村 吏花		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	中村 吏花		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟43		
対象学生(クラス等) / Object Student	L英6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	arthur410@hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目、学生番号、氏名を記入すること)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	arthur410@hotmail.co.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	Eメールの書き方・表現方法、会話における表現方法・発音の特徴などを確認し、英語の4技能を総合的に伸ばす訓練をします。毎回無作為に指名しますので、当たった人は英文解釈やペアでの会話発表をしてください。		
授業到達目標/Goal	基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解することができる。自分が必要とする情報を正しく適切に入手することができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業には十分を予習をして臨み、必ず辞書を持参してください(通話・メール機能の付いた電子機器の電子辞書としての使用不可)。問題の解答だけでなく、英文解釈や英文音読なども毎回無作為に指名して発表してもらいます。英語の音の特徴を確認するとともに、ディクテーションや音読など、英語を聞き・読む訓練をします。それぞれの問題のポイントと重要文法事項を解説します。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	リスニング、音読、Eメール		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	行時潔『Eメール&英会話コミュニケーション:就職編』松柏社 1900円(税別) *初回の授業時に教室で教科書販売があります。2回目以降の授業には必ずテキスト本体を入手して出席してください。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験40%、課題(ペアでの会話発表)10%、積極的な授業への参加状況10%、G-TELP20%、E-Learning20%(3StepCALL10%、PowerWords10%) 課外学習のE-Learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。		
受講要件(履修条件)/Requirements	3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います(入院・出席停止の伝染病等を除き病欠も欠席扱いとします)。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。		
学生へのメッセージ/Message for students	テキストには音声がついていますので、リーディングやライティングの時に英語の音声を意識して練習してみましょう。内容がよくつかめないときは何が分からないのかを明らかにさせてください。リスニングに関しては、何度も繰り返し聞いて、聞き取れた音を書き取ってみてください。継続していけば、必ず書き取れる量が増えていきます。それで自分が聞き取れるようになっていくことが確認できると思います。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	Takuya's Job Hunt(1)		
第3回	Takuya's Job Hunt(2) Asking a Favor(1)		
第4回	Asking a Favor(2)		
第5回	Decision Time		
第6回	A Lucky Break		
第7回	3step小テスト(1) Fun in the Sun(1)		
第8回	Fun in the Sun(2) Welcome to the Land of the Rising Sun(1)		
第9回	Welcome to the Land of the Rising Sun(2) Bottoms Up(1)		

第10回	Bottoms Up(2)
第11回	The World's Most Comfortable City
第12回	3step小テスト(2) Touching Base(1)
第13回	GTELP試験
第14回	ペア発表
第15回	Touching Base(2) 1回目から14回目の授業のまとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/01/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011016	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (E(英1))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小笠原 真司		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	小笠原 真司		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	小笠原 真司		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2)		
対象学生(クラス等) / Object Student	(E(英1))		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月3 火4 木4		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	このクラスは、幕末の長崎における医学・薬学・工学に関する近代化の歴史を学びながら、リーディング力および専門に関する英単語を含めた語彙力の養成を行います。また、リスニングや音読の訓練も行い、音声面での強化も行います。		
授業到達目標/Goal	テキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定されたKey Word 約200語およびテキスト中のWords and Phrases 約300語の計500語を確実に意味がわかるようにします。また、テキスト中に指定してある60のKey Sentenceが書けるようにします。同時にCDを使い、その構文が、スラスラ言えるようにします。またe-learning教材パワーワーズとリスニング教材3 Stepの指定した範囲や時間をクリアしてもらいます。		
授業方法(学習指導法)/Method	演習形式で行います。指定された英文テキストは、大意を取る練習をします。また細かな部分の読解は、テスト形式のプリントを解きながら、行ないます。指定された範囲をきちんと読んで、予習してくることも大切です。また授業中に配布するプリント教材を用いて、リスニングの練習や専門語彙修得を図ります。さらに、e-learning 教材、パワーワーズと3 Step CALLも課し学力の向上をはかるとともに、評価にも加えます。		
授業内容/Class outline/Con	<p>e-learning 教材のテストに関しては、大学指定の小テストに加え、担当教員作成の独自の小テストを行います。</p> <p>授業は教科書を用いてリーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。このテキストを用いて、速読練習をし、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。テキストの詳細の部分の読解は、テスト形式のプリントを用いて、効率的に行います。</p> <p>またe-learning 教材パワーワーズや3 Step CALLの教材を授業中の一部を利用して行うとともに、残りは授業外の学習として、指定するペースで各自学習してもらいます。</p> <p>英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。英語が苦手な学生もいると思いますが、担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。</p> <p>習熟度別クラスにて授業を実施します。クラス分けは前もって、掲示にて発表します。</p>		
キーワード/Key word	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書(テキスト): Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan (EIKO-SHA) (CD付) 1,900円		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	成績評価は、定期試験50%、授業中の発表10%、G-TELP 20%、e-learning 20%で行います。		
受講要件(履修条件)/Requirements	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること(ワークブックとして、時々提出してもらいます)。		
学生へのメッセージ/Message for students	G-TELPのテストは、原則として授業の13回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		
授業計画詳細			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション Unit 1. Dr. Broek as a Teacher of Western Technology (1) 3 Step CALLの教材 (American Daily Life) Power Words Level 4 Unit1-5
第2回	Unit 2. Dr. Broek as a Teacher of Western Technology (2) e-learning Power Words Level 4 Unit6-10 3 Step CALLの教材(American Daily Life)
第3回	Unit 3. Pompe: Founder of the First Medical School in Japan (1) e-learning Power Words Level 4 テスト 3 Step CALLの教材(American Daily Life)Power Words テスト
第4回	Unit 4. Pompe: Founder of the First Medical School in Japan (2) e-learning Power Words Level 4 Unit11-15 3 Step CALLの教材(American Daily Life)
第5回	Unit 5. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1) e-learning Power Words Level 4 Unit16-20 3 Step CALLの教材(American Daily Life)
第6回	Unit 6. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2) e-learning Power Words Level 4 テスト 3 Step CALLの教材(American Daily Life)
第7回	Unit 7. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3) e-learning Power Words Level 4 Unit21-25 3 Step CALLの教材(American Daily Life)小テスト
第8回	Unit 8. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4) e-learning Power Words Level 4 Unit25-30 3 Step CALLの教材(American Daily Life)
第9回	Unit 9. The Introduction of Western-Style Chemistry and Pharmacy e-learning Power Words Level 4 小テスト 3 Step CALLの教材(American Daily Life)
第10回	Unit10. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (1) e-learning Power Words Level 4 Unit31-35 3 Step CALLの教材(American Daily Life)
第11回	Unit 11. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (2) e-learning Power Words Level 4 Unit36-40 3 Step CALLの教材(American Daily Life)
第12回	Unit 12. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (3) e-learning Power Words Level 4 テスト 3 Step CALLの教材(American Daily Life)小テスト
第13回	G-TELP テスト
第14回	まとめUnit 13. Steam Factory Nagasaki 1856 e-learning Power Words Level 4 Unit41-50 3 Step CALLの教材(American Daily Life)
第15回	Unit 14. Growth 1861-1865 Power Words テスト
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011017	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (E(英2))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	加島 巧		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	加島 巧		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	加島 巧		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育B棟15		
対象学生(クラス等) / Object Student	E(英2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kashima@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控え室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業時間の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ねらい: 英語によるスピーチを読みながら、様々な練習問題を解いていくことで、スピーチの原文を理解できることを目指します。併せて、リスニング能力や速読能力を高めるテキストも使用し、英語の総合力を高めます。		
授業到達目標/Goal	到達目標: テキストの英語を辞書無しでも読めることを目指します。付属CDでテキストの内容が聞き取れるようにします。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業方法(学習指導法): 演習形式で行います。指定されたテキストの問題を解きながら、その内容を理解していきます。授業の最初には、リスニングや、速読能力を高める授業を行います。毎回指定された量の自宅学習も必要とされます。		
授業内容/Class outline/Con	授業の最初には、プリントでウォーミングアップを行います。その後Memorable Speechesを読みます。かならず指定された部分を予習しておいてください。		
キーワード/Key word	スピーチ、総合英語		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Memorable Speeches (センゲージ) 2,000円位 (第一回目の授業時に教室にて販売します)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験60% G-TELP 20% 3step 小テスト10% e-learning 10% 定期試験には平常点、出席等も含まれます。		
受講要件(履修条件)/Requirements	定期試験の受験資格は規定による。教科書は必ず購入すること。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業中の携帯電話の使用は厳禁とする。遅刻もしないように。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第1回: オリエンテーション Practice Test 1		
第2回	第2回: Practice Test 2, LincolnのThe Gettysburg Address		
第3回	第3回: Practice Test 3, Obama のVictory Speech (1)		
第4回	第4回: Practice Test 4, Obama のVictory Speech (2)		
第5回	第5回: Practice Test 5, ObamaのVictory Speech (3)		
第6回	第6回: Practice Test 6, Murakami HarukiのJerusalem Speech (1)		
第7回	第7回: Practice Test 7, Murakami haruki のJerusalem Speech (2) 3step 小テスト1回目		
第8回	第8回: Practice Test 8, Aung San Suu KyiのNobel Peace Prize Acceptance Speech (1)		
第9回	第9回: Practice Test 9, Aung San Suu KyiのNobel Peace Prize Acceptance Speech (2)		
第10回	第10回: Practice Test 10, RooseveltのAnnual Message to Coness(1)		
第11回	第11回: RooseveltのAnnual Message to Congress(2)		
第12回	第12回: RooseveltのAnnual Message to Congress(3) 3step 小テスト2回目		
第13回	第13回: G-TELPテストとまとめ		
第14回	第14回: HepburnのUNICEF親善大使Speech(1)		

第15回	第15回：HepburnのUNICEF親善大使Speech(2)
第16回	第16回：定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011018	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (E(英3))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宗司		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宗司		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宗司		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育G棟38		
対象学生(クラス等) / Object Student	E(英3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi@tea.ocn.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後(14:20~ / 授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで『聞く』ことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語(及び米語) - 必要最低限の英語(及び米語) - を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標/Goal	本講座の受講によって、これまで英語のリスニングに際し、疑問であつたことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることが究極の目標であるが、英語国民と日常会話等で円滑なコミュニケーションを図ることができるレベルのリスニング力とスピーキング力を習得することが当座の目標である。また、並行してTOEICテストや各種英語資格・検定試験等のリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英米語運用能力を向上させることを目標に掲げたい。		
授業方法(学習指導法)/Method	まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音声の特徴や法則性(音法)について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、英米語の運用能力を習得するトレーニングを行なっていく。なお、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事(ニュース)等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。		
授業内容/Class outline/Con	授業内容(概要) 前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる英語音声学の視点を取り入れた音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、音素に関する基礎知識の習得、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音声の特徴と法則性(音法)の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。また、限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行なっていくとともに、必要に応じて適宜、異文化理解を目的とした英語圏の文化を含む海外事情や、日本との文化的差異に焦点を当てた実体験に基づく比較文化的視座からの実利的なトピックス『体験的・こまぎれ比較文化論』も交えつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開し講義を進めていく。		
キーワード/Key word	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、クイックレスポンス、直読直解、異文化理解		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	(1) 英語リスニング 聞き取るための入門講座(ハンドアウト教材) (2) American(ハンドアウト教材)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動(授業中の発表等)10%、G-TELP成績結果20%、課外学習のe-learning20%(3 Step CALL10%、PowerWords10%)等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動(積極的かつ自発的な発言等)が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加算するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。		



学生へのメッセージ/Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
授業計画詳細	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか) / 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』 分析結果の報告と対策法について
第2回	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/
第3回	/r/と/l/の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
第4回	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
第5回	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
第6回	連結しない場合の/l/, /h/の脱落、半母音/j/, /n+/t/と/n+/d/による音変化
第7回	3step小テスト(1回目)、『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
第8回	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化)
第9回	『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化)、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第10回	『同化』を聞き取るパターン(3)(/n/の後続音への影響)
第11回	On an Airplane(1)
第12回	3step小テスト(2回目)、On an Airplane(2)
第13回	G-TELP実施
第14回	At an Airport(1)、洋楽を聞き取る
第15回	At an Airport(2)、洋楽を聞き取る、まとめ
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/01/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011019	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (E(英4))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小笠原 真司		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	小笠原 真司		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	小笠原 真司		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2)		
対象学生(クラス等) / Object Student	(E(英4))		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月3 火4 木4		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	このクラスは、幕末の長崎における医学・薬学・工学に関する近代化の歴史を学びながら、リーディング力および専門に関する英単語を含めた語彙力の養成を行います。また、リスニングや音読の訓練も行い、音声面での強化も行います。		
授業到達目標/Goal	テキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定されたKey Word 約200語およびテキスト中のWords and Phrases 約300語の計500語を確実に意味がわかるようにします。また、テキスト中に指定してある60のKey Sentenceが書けるようにします。同時にCDを使い、その構文が、スラスラ言えるようにします。またe-learning教材パワーワーズとリスニング教材3 Stepの指定した範囲や時間をクリアしてもらいます。		
授業方法(学習指導法)/Method	演習形式で行います。指定された英文テキストは、大意を取る練習をします。また細かな部分の読解は、テスト形式のプリントを解きながら、行ないます。指定された範囲をきちんと読んで、予習してこることも大切です。また授業中に配布するプリント教材を用いて、リスニングの練習や専門語彙修得を図ります。さらに、e-learning 教材、パワーワーズと3 Step CALLも課し学力の向上をはかるとともに、評価にも加えます。		
授業内容/Class outline/Con	<p>e-learning 教材のテストに関しては、大学指定の小テストに加え、担当教員作成の独自の小テストを行います。</p> <p>授業は教科書を用いてリーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。このテキストを用いて、速読練習をし、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。テキストの詳細の部分の読解は、テスト形式のプリントを用いて、効率的に行います。</p> <p>またe-learning 教材パワーワーズや3 Step CALLの教材を授業中の一部を利用して行うとともに、残りは授業外の学習として、指定するペースで各自学習してもらいます。</p> <p>英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。英語が苦手な学生もいると思いますが、担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。</p> <p>習熟度別クラスにて授業を実施します。クラス分けは前もって、掲示にて発表します。</p>		
キーワード/Key word	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書(テキスト): Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan (EIKO-SHA) (CD付) 1,900円		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	成績評価は、 定期試験50%、授業中の発表10%、G-TELP 20%、e-learning 20%で行います。		
受講要件(履修条件)/Requirements	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること(ワークブックとして、時々提出してもらいます)。		
学生へのメッセージ/Message for students	G-TELPのテストは、原則として授業の13回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		
授業計画詳細			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション Unit 1. Dr. Broek as a Teacher of Western Technology (1) 3 Step CALLの教材 (American Daily Life) Power Words Level 4 Unit1-5
第2回	Unit 2. Dr. Broek as a Teacher of Western Technology (2) e-learning Power Words Level 4 Unit6-10 3 Step CALLの教材(American Daily Life)
第3回	Unit 3. Pompe: Founder of the First Medical School in Japan (1) e-learning Power Words Level 4 テスト 3 Step CALLの教材(American Daily Life)Power Words テスト
第4回	Unit 4. Pompe: Founder of the First Medical School in Japan (2) e-learning Power Words Level 4 Unit11-15 3 Step CALLの教材(American Daily Life)
第5回	Unit 5. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1) e-learning Power Words Level 4 Unit16-20 3 Step CALLの教材(American Daily Life)
第6回	Unit 6. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2) e-learning Power Words Level 4 テスト 3 Step CALLの教材(American Daily Life)
第7回	Unit 7. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3) e-learning Power Words Level 4 Unit21-25 3 Step CALLの教材(American Daily Life)小テスト
第8回	Unit 8. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4) e-learning Power Words Level 4 Unit25-30 3 Step CALLの教材(American Daily Life)
第9回	Unit 9. The Introduction of Western-Style Chemistry and Pharmacy e-learning Power Words Level 4 小テスト 3 Step CALLの教材(American Daily Life)
第10回	Unit10. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (1) e-learning Power Words Level 4 Unit31-35 3 Step CALLの教材(American Daily Life)
第11回	Unit 11. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (2) e-learning Power Words Level 4 Unit36-40 3 Step CALLの教材(American Daily Life)
第12回	Unit 12. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (3) e-learning Power Words Level 4 テスト 3 Step CALLの教材(American Daily Life)小テスト
第13回	G-TELP テスト
第14回	まとめUnit 13. Steam Factory Nagasaki 1856 e-learning Power Words Level 4 Unit41-50 3 Step CALLの教材(American Daily Life)
第15回	Unit 14. Growth 1861-1865 Power Words テスト
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011020	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (E(英5))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	加島 巧		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	加島 巧		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	加島 巧		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育B棟15		
対象学生(クラス等) / Object Student	E(英5)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kashima@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控え室		
担当教員TEL/Tel	0.0		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業時間の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ねらい: 英語によるスピーチを読みながら、様々な練習問題を解いていくことで、スピーチの原文を理解できることを目指します。併せて、リスニング能力や速読能力を高めるテキストも使用し、英語の総合力を高めます。		
授業到達目標/Goal	到達目標: テキストの英語を辞書無しでも読めることを目指します。付属CDでテキストの内容が聞き取れるようにします。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業方法(学習指導法): 演習形式で行います。指定されたテキストの問題を解きながら、その内容を理解していきます。授業の最初には、リスニングや、速読能力を高める授業を行います。毎回指定された量の自宅学習も必要とされます。		
授業内容/Class outline/Con	授業の最初には、プリントでウォーミングアップを行います。その後Memorable Speechesを読んで行きます。かならず指定された部分を予習しておいてください。		
キーワード/Key word	スピーチ、総合英語		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Memorable Speeches (センゲージ) 2,000円位 (第一回目の授業時に教室にて販売します)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験60% G-TELP 20% 3step 小テスト10% e-learning 10% 定期試験には平常点、出席等も含まれます。		
受講要件(履修条件)/Requirements	定期試験の受験資格は規定による。教科書は必ず購入すること。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業中の携帯電話の使用は厳禁とする。遅刻もしないように。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第1回: オリエンテーション Practice Test 1		
第2回	第2回: Practice Test 2, LincolnのThe Gettysburg Address		
第3回	第3回: Practice Test 3, Obama のVictory Speech (1)		
第4回	第4回: Practice Test 4, Obama のVictory Speech (2)		
第5回	第5回: Practice Test 5, ObamaのVictory Speech (3)		
第6回	第6回: Practice Test 6, Murakami HarukiのJerusalem Speech (1)		
第7回	第7回: Practice Test 7, Murakami haruki のJerusalem Speech (2) 3step 小テスト1回目		
第8回	第8回: Practice Test 8, Aung San Suu KyiのNobel Peace Prize Acceptance Speech (1)		
第9回	第9回: Practice Test 9, Aung San Suu KyiのNobel Peace Prize Acceptance Speech (2)		
第10回	第10回: Practice Test 10, RooseveltのAnnual Message to Coness(1)		
第11回	第11回: RooseveltのAnnual Message to Congress(2)		
第12回	第12回: RooseveltのAnnual Message to Congress(3) 3step 小テスト2回目		
第13回	第13回: G-TELPテストとまとめ		
第14回	第14回: HepburnのUNICEF親善大使Speech(1)		

第15回	第15回：HepburnのUNICEF親善大使Speech(2)
第16回	第16回：定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011021	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (E(英6))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	光野 百代		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	光野 百代		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	光野 百代		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟32		
対象学生(クラス等) / Object Student	E6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mmitsuno@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜 2 限		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業は、基礎的な英語での論理展開方法を学びながら、リーディング、リスニング、ライティング、スピーキングの技能を統合して上達させることに重点を置きます。		
授業到達目標/Goal	コミュニケーション能力を習得するために、英語の論理展開を理解し、語彙や論理的思考、英語の表現を使用する技能を獲得し、英語学習に関心と自信と持つことを目標とします。		
授業方法(学習指導法)/Method	教科書の文章問題を解きながら、英語の論理展開の方法を確認していきます。また、コミュニケーション能力の習得に必要な、語彙の獲得や英作文の練習も行う予定です。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	コミュニケーション技能、クリティカルシンキング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Critical thinking: language skills for clear communication 朝日出版 1700円		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	G - T E L P ( 2 0 % ) E - L e a r n i n g ( 2 0 % )、授業活動・課題への積極的参加 ( 2 0 % )、期末試験 ( 4 0 % )		
受講要件(履修条件)/Requirements	基本的に授業には毎回遅れないよう出席して下さい。授業を5回以上欠席した場合は成績評価の対象としません。また、2回の遅刻で1回の欠席とカウントしますので注意してください。最初の授業は、この授業の計画を説明するので必ず出席してください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	introduction		
第2回	unit1		
第3回	unit1		
第4回	unit2		
第5回	unit2		
第6回	unit3		
第7回	unit3 3 S t e p小テスト		
第8回	unit4		
第9回	unit4		
第10回	unit5		
第11回	unit5		
第12回	unit6 3 S t e p小テスト		
第13回	G-T E L P試験		
第14回	unit6		
第15回	review		
第16回	期末試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011022	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (T1)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	奥田 阿子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	奥田 阿子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	奥田 阿子		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	T1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a-okuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	4年間の基礎となる英語力を身につけ、実践的な英語の運用能力を養成する。		
授業到達目標/Goal	情報収集を行ったものに対し、簡単な英語を用いて相手に伝えられるようになること。自分に合った英語の学習法を見つけること。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業で扱う内容は授業前に学習し、内容理解をしておく。授業中は、その内容を発展させた活動を取り入れ、グループでの発表に備えた作業を行ってもらいながら英語の運用能力の養成を図ります。		
授業内容/Class outline/Con			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	3-Step CALL System (e-learning)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト: 15%</li> <li>・期末試験: 15%</li> <li>・提出物、グループワークの成果物: 30%</li> <li>(自分たちでの評価、他グループからの評価、教員からの評価等)</li> <li>・G-TELP: 20%</li> <li>・e-learning: 20%</li> <li>(PowerWords 10%: 単語の教材のレベルを1上げること 3-Step CALL System 10%: 2回のUNITテスト)</li> </ul>		
学生へのメッセージ/Message for students	リスニング力を上げるためには、毎日少しの時間でも英語を耳にする時間を作りましょう!!		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション 教材の説明、学習方法の説明、成績についての説明 グループ作り アンケートの実施		
第2回	学習方法について iPadの導入		
第3回	American Daily Lifeを使用したフレーズの習得		
第4回	American Daily Lifeを使用したフレーズの習得		
第5回	3回目、4回目の授業で学んでフレーズを使用した英作文の作成		
第6回	5回目の授業で作成した英作文に対し、グループでピアレビューを行う		
第7回	3-STEP小テスト ピアレビューした英作文をもとに、グループで発表準備を行う		
第8回	発表		
第9回	発表の振り返りと他グループの評価		
第10回	動画や資料を通して、意思力について理解し、自らの学習に応用できるか考える		
第11回	動画や資料を通して、意思力について理解し、自らの学習に応用できるか考える		
第12回	3-STEP小テスト 10回、11回の授業で得た情報をもとに発表準備を行う		

第13回	発表
第14回	G-TELP
第15回	まとめ
第16回	期末テスト



学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011023	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (T2)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	宇佐美 康子		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	宇佐美 康子		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	宇佐美 康子		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟32		
対象学生(クラス等) / Object Student	T2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	usamikan@fsinet.or.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>今まで培ってきた一文一文を正確に読む力(精読力)を保持しつつ、ある程度まとまった量の英文を、ある程度速く読んで、ある点についての情報をできるだけ正確に取る、或いは、大意を取る力(速読力)を育てる。英語文章の構成を学び、段落ごとの要点と段落間の関係を取る練習をする。また、聴解の活動を通して、英語によるオーラルコミュニケーションの基礎を強化する。</p> <p>現在多くの分野において、第一線の情報は、英語経由で最も早く詳しく数多く手に入る傾向にある。その現状を前提に、実践で役立つような英語の読解力の向上を目指す。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>テキスト程度の英文をある程度の速さで読み、必要な情報を探せ、ある程度の大意が取れること。必要な場合は、正確な英文理解のために基本文法が適用でき、正確に意味が取れること。文脈に応じて語彙の解釈ができること。基本的な英語を、聞いて理解できること。</p>		
授業方法(学習指導法)/Method	演習形式		
授業内容/Class outline/Con	<p>各ユニットが300-400語から成る PRISM blue をテキストに用い、世界中の興味深い話題について読む。14回の授業の初めの4回は精読を中心に、次の2回は文章全体の構造に注目して速読の準備をし、その後の4回は速読を中心に、最後の4回は2種類のスキルの両方をバランスよく組み合わせて使えるように演習を行う。</p> <p>授業の最初は、英作文、或いは英単語の小テストを行う。テスト範囲は、毎回指定する。その後、リーディングの演習をする。(学生は指示された範囲や内容を、音読を含め必ず家庭で予習して授業に参加すること。各文の意味を取る、或いは、各英単語の音を確かめるだけでなく、英語のリズムとスピードで音読できることは、将来、ある程度のまとまった量のある程度の速さで読むためには大切なので、音読を軽視しないこと。英音はインターネットでダウンロード出来る。)音読する、必要な情報を抜き出す、大意を取る、文法を確認する、精読する、などを行う。テキストにある設問を適宜利用する。</p>		
キーワード/Key word	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、パラグラフリーディング。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	PRISM blue, Second Edition, Timothy Kiggell & Katsuhiko Muto, MACMILLAN LANGUAGEHOUSE, 1700円+税.		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	G-TELP 20%、課外学習のe-learning 20%(3 Step-CALL 10%、Power Words 10%)、定期試験45%、小テスト約10%、授業への参加等約5%。 課外学習の e-learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	全回出席が原則。第一回目の授業の初めに教室で教科書を購入するので、代金を忘れずに。		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	<p>毎回小テストをします。これは前回の授業の復習になり、好評です。予習して授業に臨むことが原則です。</p> <p>英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要です。英語が苦手な学生もいると思いますが、努力すれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。</p>		
授業計画詳細			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション、 Unit 1 Pet Medicine
第2回	Unit 2 China's Four-Wheel Revolution
第3回	Unit 3 Lifestyle Coaches
第4回	Unit 4 Wasabi from Tasmania
第5回	Unit 5 Time Out
第6回	Unit 6 Women Bodyguards
第7回	3step小テスト(15分程度) Unit 7 Taste and Flavor
第8回	Unit 8 Cutting Edge Technology
第9回	Unit 9 Cowboys and Samurai
第10回	Unit 10 Prison Fashion
第11回	Unit 11 Aftereffects of War
第12回	3step小テスト(15分程度) Unit 12 The Art of Making Perfume
第13回	Unit 13 Living with Reindeer
第14回	G-TELP テスト
第15回	Unit 14 A Gost Tale Unit 15 In Hot Water
第16回	期末テスト

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011024	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (T3)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	廣江 顕		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	廣江 顕		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	廣江 顕		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2)		
対象学生(クラス等) / Object Student	T3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	論理的に大意を素早く日本語でまとめる訓練を行う。		
授業到達目標/Goal	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業の前半では、リスニングテストを行い、その後、解答・解説を行う。後半では、テキストを用いてreadingに特化した、論理的に大意をつかむ訓練を行う。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	rapid reading, listening, e-learning materials		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『ニュースとエッセイで読む健康、自然、生命』、英宝社、1800円(税別)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	リスニング(20%), 3Step CALL System(10%), Power Words(10%), G-TELP(20%), 定期試験(40%)		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction, sample listening test, e-learning教材の説明		
第2回	Listening 1, テキストUnit3		
第3回	Listening 2, テキストUnit5		
第4回	Listening 3, テキストUnit8		
第5回	Listening 4, テキストUnit11		
第6回	Listening 5, テキストUnit12		
第7回	3Step小テスト(1)(約30分程度), テキストUnit15		
第8回	DVD教材(1), Dictation		
第9回	DVD教材(2), Dictation		
第10回	Listening 6, テキストUnit2		
第11回	Listening 9, テキストUnit4		
第12回	3Step小テスト(2), テキストUnit6		
第13回	Listening 10, テキストUnit7		
第14回	G-TELP		
第15回	まとめ, テキストUnit12		
第16回	定期試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 1
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/01/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011025	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (T4)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	稲富 百合子		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	稲富 百合子		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	稲富 百合子		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟24		
対象学生(クラス等) / Object Student	工学(T4)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	inadomi@fukuoka-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、また、メールにて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業では、世界15カ国の文化や歴史に関する映像(DVD)を活用しながら、できるだけ多くの英語の文章に触れ、読解力を養成することを目指します。		
授業到達目標/Goal	(1) 英語の文章構成の基礎知識について学び、速読のスキルを身につけ、英語の文章を効率的に、かつ正確に読み進めることができるようになる。 (2) 自然な速度で話される英語の音声変化の特徴を学び、話されている内容の理解力を向上させる。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業の前半ではリーディングを中心に、後半ではリスニングの問題を中心に進めていきます。各自、予習、復習をして授業に臨んでください。		
授業内容/Class outline/Con	予習、復習を前提に行います。1回の授業につき1ユニットを進めることを進度の目安にしてください。 リーディングでは、各国に関する英文を読み、語彙・文法・構文など、様々な要素の知識を習得していきましょう。 リスニングにおいては、ディクテーションを行い、内容の大意をつかむ練習と細部まで理解を深める練習の両方を行います。また、単語や表現の正確な発音を身につけていきます。 テキストの構成は以下の通りです。 (1) Warm-up Exercise: 各国に関する背景知識について (2) Vocabulary Exercise: Readingの中に出てくる単語とその意味について (3) Reading: 300語程度の英文。各国に関する情報を増やし、DVDの内容理解の助けとなるもの (3) DVD Part I: 各国の歴史、文化、社会などの紹介と内容理解を問う練習問題 (4) DVD PART II: 地元の人々へのインタビュー		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	[Title] World Adventures [Author(s)] Scott Berlin / 小林めぐみ [Publisher] 金星堂 [ISBN] 978-4-7647-3907-9 * 参考書等 授業中に適時紹介します。 * 授業には必ず辞書を持参して下さい。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	【教員評価分】60% < 定期試験35%、授業への積極的な取り組み状況(発表を含む)15%、小テスト10% >、【課外学習のe-learning】20% < 3 Step CALL 10%、Power Words 10% >、【G-TELP】20%とし、総合的に評価します。課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。		
受講要件(履修条件)/Requirements	原則として全回出席しなければ単位は成立しません。ただし、やむを得ず(正当な理由で)欠席する場合は、個別指導を行います。 第1回目の授業では、教室で教科書販売を行います。価格は2300円(税別)です。 授業には必ず辞書を持参して下さい。		
学生へのメッセージ/Message for students	毎回授業のはじめに小テストを実施しますので、遅刻のないように注意してください。		
授業計画詳細			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	教科書販売、オリエンテーション（授業の進め方について説明）、英語の文章構成について（プリント教材）、音声変化の特徴について（プリント教材）、リスニングの課題プリントの配布と担当者決め
第2回	Chapter 1: INDIA
第3回	Chapter 2: PHILIPPINES
第4回	Chapter 3: THAILAND
第5回	Chapter 4: VIETNAM
第6回	Chapter 5: KOREA
第7回	3step小テスト 1回目 Chapter 6: FRANCE
第8回	Chapter 7: ITALY
第9回	Chapter 8: DENMARK
第10回	Chapter 9: PORTUGAL
第11回	Chapter 10: TURKEY
第12回	3step小テスト 2回目 Chapter 11: EGYPT
第13回	G-TELP
第14回	Chapter 12: SOUTH AFRICA
第15回	Chapter 13: BRAZIL
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/01/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011026	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (T5)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	稲富 百合子		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	稲富 百合子		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	稲富 百合子		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟24		
対象学生(クラス等) / Object Student	工学(T5)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	inadomi@fukuoka-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、また、メールにて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業では、様々な国の法律とその国独自の文化事情を紹介したテキストを使用し、できるだけ多くの英語の文章に触れ、読解力を養成することを目指します。		
授業到達目標/Goal	(1) 英語の文章構成の基礎知識について学び、速読のスキルを身につけ、英語の文章を効率的に、かつ正確に読み進めることができるようになる。 (2) 自然な速度で話される英語の音声変化の特徴を学び、話されている内容の理解力を向上させる。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業の前半ではリーディングを中心に、後半ではリスニングの問題を中心に進めていきます。各自、予習、復習をして授業に臨んでください。		
授業内容/Class outline/Con	予習、復習を前提に行います。1回の授業につき1ユニットを進めることを進度の目安にしてください。テキストには様々な国の法律に関するエッセイが収められています。リーディングでは、状況に応じて精読と速読を使い分けていきます。英文を読み、語彙・文法・構文など、様々な要素の知識を習得していきましょう。リスニングにおいては、ディクテーションを行い、内容の大意をつかむ練習と細部まで理解を深める練習の両方を行います。また、単語や表現の正確な発音を身につけていきます。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	[Title] Funny Laws in the World [Author(s)] 石井隆之 / 岩田雅彦 / 梶山宗克 / ジョー・シウンシ [Publisher] 南雲堂 [ISBN] 978-4-523-17784-5 *参考書等 授業中に適時紹介します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	【教員評価分】60% < 定期試験40%、授業への積極的な取り組み状況(発表を含む)15%、小テスト5% >、【課外学習のe-learning】20% < 3 Step CALL 10%、Power Words 10% >、【G-TELP】20%とし、総合的に評価します。課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。		
受講要件(履修条件)/Requirements	原則として全出席しなければ単位は成立しません。ただし、やむを得ず(正当な理由で)欠席する場合は、個別指導を行います。 第1回目の授業では、教室で教科書販売を行います。価格は1700円(税別)です。授業には必ず辞書を持参して下さい。		
学生へのメッセージ/Message for students	毎回授業のはじめに小テストを実施しますので、遅刻のないよう注意してください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	教科書販売、オリエンテーション(授業の進め方について説明)、英語の文章構成について(プリント教材)、英語の音声変化の特徴について(プリント教材)		
第2回	Unit 1: What's So Free about Freeways?		
第3回	Unit 2: Riding a Horse While Drunk is Illegal?		
第4回	Unit 3: Walk Your Dog Three Times a Day!		
第5回	Unit 4: Hungary Introduces a Tax on Chips		
第6回	Unit 5: Don't Tie Alligators to Fire Hydrants!		

第7回	3step小テスト1回目 Unit 6: Marriage and Divorce in Different Cultures
第8回	Unit 7: Smile!
第9回	Unit 8 : Silent Sunday?
第10回	Unit 9: Want to Be a Pilot?
第11回	Unit 10: Napoleon, the Pig?
第12回	3step小テスト2回目 Unit 11: Don't Drop Dead Here!
第13回	G-TELP
第14回	Unit 12: Cheating Does Not Pay
第15回	Unit 13: Putting a Stop to Traffic Jams
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011027	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (T6)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	生田 和也		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	生田 和也		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	生田 和也		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟41		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ikuta@sun.ac.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後30分に、非常勤控室か授業教室にて。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語ニュースの視聴を通して、主に「読む」、「聴く」能力を養成します。また必要に応じて文法事項の確認もします。		
授業到達目標/Goal	(1) 英語ニュースの映像、音声、原稿による学習を通して、英語による情報取得能力を向上する。 (2) 聞き取りや書き取りを通して、英語リスニング力向上のための技術を得る。		
授業方法(学習指導法)/Method	基本的にテキストに沿って授業を行います。毎回の授業には予習範囲があり、授業はじめの小テストで予習の確認をします。		
授業内容/Class outline/Con	実際に方法された英語ニュースを用いる授業であるが、単語やフレーズの確認、ニュースの聞き取りや書き取りを行うことで、段階的に英語による情報取得能力を養う。また利用するビデオ教材は現在の日本社会を扱ったニュース映像であることから、英語を学ぶと同時に見識を広げる機会となる。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	What's on Japan 9 / 金星堂 編著者: 山崎達朗, Stella M. Yamazaki ISBN: 978-4-7647-3994-9		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	教員評価 60% (予習度テスト 20%、試験 30%、授業態度 10%) G-TELP 20 % E-Learning 20% (Power Words 10%、3 Step 小テスト2回 10%)		
学生へのメッセージ/Message for students	授業では一番最初に予習範囲のテストを行いますので、遅刻をしないように。E-Learningと合わせて、毎週しっかりと準備をしてきてください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション Box Stars		
第2回	小テスト Tearing Down Language Barriers		
第3回	小テスト Punching Back		
第4回	小テスト Walking Up Sleeping Patents		
第5回	小テスト Traditional Japanese Cuisine		
第6回	小テスト The Cost of Convenience		
第7回	3step小テスト1回目 進度に応じたテキスト補充		
第8回	小テスト New Look at Old Clothes		
第9回	小テスト Operating Rooms on Wheels		
第10回	小テスト Off the Tourist Trail		
第11回	小テスト Blindness No Barrier		



第12回	3step小テスト2回目 進度に応じたテキスト補充
第13回	G-TELP 進度に応じたテキスト補充
第14回	小テスト Against the Grain
第15回	小テスト Healthy Workers Paying Off
第16回	試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011028	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (T7)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宗司		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宗司		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宗司		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育G棟38		
対象学生(クラス等) / Object Student	T7		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi@tea.ocn.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後(12:00~12:10、及び14:20~/授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで『聞く』ことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語(及び米語) - 必要最低限の英語(及び米語) - を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標/Goal	本講座の受講によって、これまで英語のリスニングに際し、疑問であつたことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることが究極の目標であるが、英語国民と日常会話等で円滑なコミュニケーションを図ることができるレベルのリスニング力とスピーキング力を習得することが当座の目標である。また、並行してTOEICテストや各種英語資格・検定試験等のリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英米語運用能力を向上させることを目標に掲げたい。		
授業方法(学習指導法)/Method	まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音声の特徴や法則性(音法)について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、英米語の運用能力を習得するトレーニングを行なっていく。なお、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事(ニュース)等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。		
授業内容/Class outline/Con	授業内容(概要) 前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる英語音声学の視点を取り入れた音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、音素に関する基礎知識の習得、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音声の特徴と法則性(音法)の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。また、限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行なっていくとともに、必要に応じて適宜、異文化理解を目的とした英語圏の文化を含む海外事情や、日本との文化的差異に焦点を当てた実体験に基づく比較文化的視座からの実利的なトピックス『体験的・こまぎれ比較文化論』も交えつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開し講義を進めていく。		
キーワード/Key word	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、クイックレスポンス、直読直解、異文化理解		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	(1) 英語リスニング 聞き取るための入門講座(ハンドアウト教材) (2) American(ハンドアウト教材)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動(授業中の発表等)10%、G-TELP成績結果20%、課外学習のe-learning20%(3 Step CALL10%、PowerWords10%)等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動(積極的かつ自発的な発言等)が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加算するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。		

学生へのメッセージ/Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
授業計画詳細	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか) / 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』 分析結果の報告と対策法について
第2回	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/
第3回	/r/と/l/の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
第4回	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
第5回	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
第6回	連結しない場合の/l/, /h/の脱落、半母音/j/, /n+/t/と/n+/d/による音変化
第7回	3step小テスト(1回目)、『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
第8回	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化)
第9回	『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化)、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第10回	『同化』を聞き取るパターン(3)(/n/の後続音への影響)
第11回	On an Airplane(1)
第12回	3step小テスト(2回目)、On an Airplane(2)
第13回	G-TELP実施
第14回	At an Airport(1)、洋楽を聞き取る
第15回	At an Airport(2)、洋楽を聞き取る、まとめ
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011029	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (T8)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古場 なおみ		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	古場 なおみ		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	古場 なおみ		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟31		
対象学生(クラス等) / Object Student	工学部(T8)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kobaknke@yahoo.co.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	(1) 世界からの様々なジャンルを題材にした教材を用い、生きた英語に触れ、また、語彙、リスニング、内容読解、スピーキング等のエクササイズによって総合的な英語力の向上をはかる。 (2) アメリカのテレビニュース番組の英語に慣れ親しむ。		
授業到達目標/Goal	テレビニュースの英語に慣れ、国際的なコミュニケーションの道具としての英語力を身につける。		
授業方法(学習指導法)/Method	講義形式でテキストを進める。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	テレビニュース英語		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	CNN Student News Vol.3 (Asahi Press)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	教員評価分60%(定期試験60%、小テスト、出席、授業への取り組み40%) G-TELP20%, e-learningの評価 (1)Power Wordsの指定されたレベルの50ユニットを15週で修了すること 10%、(2)3 STEP CALL System を15週で15時間以上学修すること(授業の6回目3step小テスト、授業の12回目3step小テスト) 10%		
受講要件(履修条件)/Requirements	毎回、予習の上で授業に臨むこと。5回欠席(2回遅刻で1回欠席とみなす)で失格とする。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業中に指示		
授業計画詳細			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介、授業の進め方、評価等の説明		
第2回	CNN Student News Vol.3 テレビニュース英語とは、Unit 1(Google Glass for Firefighters)		
第3回	CNN Student News Vol.3 Unit 1 (Google Glass for Firefighters)		
第4回	CNN Student News Vol.3 Unit 3 (iPhone Musician)		
第5回	CNN Student News Vol.3 Unit 3 (iPhone Musician) & Unit 4 (Mirror Project in Norway)		
第6回	CNN Student News Vol.3 Unit 4 (Mirror Project in Norway)		
第7回	3step小テスト1回目 CNN Student News Vol.3 Unit 5 (Octocopters)		
第8回	CNN Student News Vol.3 Unit 5 (Octocopters) & Unit 7 (Halloween: Frighteningly Good Business)		
第9回	CNN Student News Vol.3 Unit 7 (Halloween: Frighteningly Good Business)		
第10回	CNN Student News Vol.3 Unit 9 (Clearing the World's Tallest Building)		
第11回	CNN Student News Vol.3 Unit 9 (Clearing the World's Tallest Building) & Unit 11 (Tokyo Olympics)		
第12回	3step小テスト2回目 CNN Student News Vol.3 Unit 11 (Tokyo Olympics)		
第13回	CNN Student News Vol.3 Unit 13 (Flying Car)		
第14回	G-TELP		
第15回	CNN Student News Vol.3 Unit 13 (Flying Car) & Review		
第16回	期末試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011030	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (T9)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	奥田 阿子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	奥田 阿子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	奥田 阿子		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟11		
対象学生(クラス等) / Object Student	T9		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	a-okuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員オフィスアワー / Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	4年間の基礎となる英語力を身につけ、実践的な英語の運用能力を養成する。		
授業到達目標 / Goal	情報収集を行ったものに対し、簡単な英語を用いて相手に伝えられるようになること。自分に合った英語の学習法を見つけること。		
授業方法(学習指導法) / Method	授業で扱う内容は授業前に学習し、内容理解をしておく。授業中は、その内容を発展させた活動を取り入れ、グループでの発表に備えた作業を行ってもらいながら英語の運用能力の養成を図ります。		
授業内容 / Class outline / Con			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	3-Step CALL System (e-learning)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト: 15%</li> <li>・期末試験: 15%</li> <li>・提出物、グループワークの成果物: 30%</li> <li>(自分たちでの評価、他グループからの評価、教員からの評価等)</li> <li>・G-TELP: 20%</li> <li>・e-learning: 20%</li> <li>(PowerWords 10%: 単語の教材のレベルを1上げること 3-Step CALL System 10%: 2回のUNITテスト)</li> </ul>		
学生へのメッセージ / Message for students	リスニング力を上げるためには、毎日少しの時間でも英語を耳にする時間を作りましょう!!		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション 教材の説明、学習方法の説明、成績についての説明 グループ作り アンケートの実施		
第2回	学習方法について iPadの導入		
第3回	American Daily Lifeを使用したフレーズの習得		
第4回	American Daily Lifeを使用したフレーズの習得		
第5回	3回目、4回目の授業で学んでフレーズを使用した英作文の作成		
第6回	5回目の授業で作成した英作文に対し、グループでピアレビューを行う		
第7回	3-STEP小テスト ピアレビューした英作文をもとに、グループで発表準備を行う		
第8回	発表		
第9回	発表の振り返りと他グループの評価		
第10回	動画や資料を通して、意思力について理解し、自らの学習に応用できるか考える		
第11回	動画や資料を通して、意思力について理解し、自らの学習に応用できるか考える		
第12回	3-STEP小テスト 10回、11回の授業で得た情報をもとに発表準備を行う		

第13回	発表
第14回	G-TELP
第15回	まとめ
第16回	期末テスト

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011031	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (T10)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育B棟15		
対象学生(クラス等) / Object Student	T10		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 2時30分より		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>基本的で実用的な英文の表現を習得し、表現の基礎の定着を図る。話すことと聴くことの技能を身に着ける。英文やダイアログの暗記をするのみではなく、構文や文法に留意して、基本的な理解力を確かなものにする。語彙を増やし、文法を理解し表現の感覚を磨く。対話力を向上させ、自分の言いたいことを表現できる豊かな表現力へと応用できる能力を養う。自分の言いたいことを表現できるコミュニケーションに対する意欲を持ち、自主的に話せるようになることを目的とする。英語の歌を通して、英米の文化を学ぶ。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>基本的・実用的な英文や英会話の表現を覚え、話すことができる。語彙力を増強することができる。英語の構文・文法・表現について理解を深めることができる。美しい発音ができ、リスニングの能力を養う。表現を声に出して述べるができる。基礎を固めた上で、自分の言いたいことを表現できるようになる。語彙を増やし、文法を身に着け、表現の応用ができるようになる。英会話とコミュニケーションに対する関心・興味を持ち、各自が目標を定めて積極的に学習の場を求めていく態度を養う。英語の歌や日常会話を通して、歌詞の背景や、英米の文化の理解を深めることができる。また、各自の現在の能力をさらに向上させるようにする。</p>		
授業方法(学習指導法)/Method	<p>英語のフレーズと歌詞の詳細な解説を行い、文法と構文、及び表現の指導をする。このことによって、英語の表現を容易に覚えらるようになる。発音の練習をし、表現を声に出して言う。声に出すことで覚えた英文を使用してみる。リスニングの指導を行う。CDを活用し、何度も聴き、リピティングを行うことで、スキルの定着を図る。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>英米の歌にみられる英語表現を中心として、CDを聴きながら、主要な表現・構文・文法の指導を行う。歌詞の表現を英語で覚える。構文や文法を理解することが、会話での表現の習得においても、容易にして有効であるというアプローチで進めていく。英単語の発音の仕方を指導し、練習を行う。文全体の発音についても指導と練習を繰り返し行い、定着を図る。さらに、対話形式の実践的なダイアログについて、ダイアログの表現を言えるように練習をし、覚え、ひいては話す能力を養う基礎を固めていく。また、話す能力と聴く能力は表裏一体であるという認識に基づいて、リスニングの方法を説明し、実践してみる。英米の歌やダイアログの背景について解説する。歌を通して、英会話とコミュニケーションに対する意欲をさらに持てるように指導していく。</p>		
キーワード/Key word	英米の歌 / ダイアログ / 文法と発音の強化 / 歌を通して英語表現の容易な定着 / 英米の文化		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『心に残る英語の歌』(CD付き)(小笠原真司 / ウィリアム・コリンズ: 英光社) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<p>定期試験の成績を60%、共通テスト(G-TELPテスト)の結果を20%、課外学習のe-learningを20%(3 Step CALL 10%、Power Words 10%)を基準とします。 定期試験を筆記で行います。課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。 また、受講中の態度を非常に重視しますので、注意しましょう。</p>		
受講要件(履修条件)/Requirements	授業には全回出席しましょう。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をしてCDを聴いてから臨んでください。		
学生へのメッセージ/Message for students	必ず予習をして授業に出席して下さい。あらかじめCDを聴いて、英単語の意味を調べておき、問題を解いておきましょう。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	10月2日	導入・授業内容の説明
第2回	10月9日	UNIT 1・2
第3回	10月16日	UNIT 3・4
第4回	10月23日	UNIT 5
第5回	10月30日	UNIT 6
第6回	11月6日	UNIT 7
第7回	11月13日	UNIT 8・9 3Step小テスト 第1回目
第8回	11月20日	UNIT 9
第9回	11月27日	UNIT 14
第10回	12月4日	UNIT 15
第11回	12月11日	UNIT 13
第12回	12月18日	UNIT 11 3Step小テスト 第2回目
第13回	12月25日	UNIT 12
第14回	1月8日	G-TELPポスト・テストとまとめ
第15回	1月22日	UNIT 10
第16回	2月5日	定期試験



学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/01/14		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011032	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (D1・D2)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古場 なおみ		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	古場 なおみ		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	古場 なおみ		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟31		
対象学生(クラス等) / Object Student	歯学(D1,D2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kobaknke@yahoo.co.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	(1)アメリカ3大ネットワークのニュース番組より、世界からの多種多様なトピックを題材にした教材を用い、生きた英語に触れ、また、語彙、リスニング、読解、スピーキング等のエクササイズによって総合的な英語力の向上をはかる。(2)アメリカのテレビニュース番組の英語の特徴に慣れ親しむ。		
授業到達目標/Goal	テレビニュースの英語に慣れ、国際的なコミュニケーションの道具としての英語力を身につける。		
授業方法(学習指導法)/Method	講義形式でテキストを進める。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	テレビニュース英語		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	ABC World News 17 (KINSEIDO)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	教員評価分60%(定期試験60%、小テスト、出席、授業への取り組み40%) G-TELP20%, e-learningの評価 (1)Power Wordsの指定されたレベルの50ユニットを15週で修了すること 10%、(2)3 STEP CALL System を15週で15時間以上学修すること(授業の6回目3step小テスト、授業の12回目3step小テスト) 10%		
受講要件(履修条件)/Requirements	毎回、予習の上で授業に臨むこと。5回欠席(2回遅刻で1回欠席とみなす)で失格とする。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業で指示		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介、授業の進め方、評価等の説明		
第2回	ABC World News 17 テレビニュース英語とは & Unit 1 (Separated at Birth:Amazing Reunion)		
第3回	ABC World News 17, Unit 1 (Separated at Birth:Amazing Reunion)		
第4回	ABC World News 17, Unit 2 (Bredwinning Moms: MObern Family)		
第5回	ABC World News 17, Unit 3 ("Neighborhood Watch" in Space)		
第6回	ABC World News 17, Unit 4 (American Dream: WhatsApp Founders Strike it Rich)		
第7回	3step小テスト1回目ABC World News 17, Unit5 (Top Dog: The Winner)		
第8回	ABC World News 17, Unit 6 (American Strong: Dance-a-thon)		
第9回	ABC World News 17, Unit 7 (Attention Shoppers: Changing the Labels)		
第10回	ABC World News 17, Unit 8 (Born in the USA? Baby Boom)		
第11回	ABC World News 17, Unit 9 (Ban Bossy)		
第12回	3step小テスト2回目 ABC World News 17, Unit 10 (Terror on the Tracks)		
第13回	ABC World News 17, Unit 11 (Rite of Passage: Big Changes in the SATs)		
第14回	G-TELP		
第15回	ABC World News 17, Unit 12 (Sleepless in America: "Short Sleepers")		



学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011033	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (F(英1))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西原 俊明		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	西原 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	西原 俊明		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	(F1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター110		
担当教員TEL/Tel	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain Englishに関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。		
授業到達目標/Goal	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。速読の訓練では、U.S.A Today, CNN, BBCなどの記事を用いて速読のスキルの訓練をする。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。		
授業内容/Class outline/Con	英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。		
キーワード/Key word	速読、Plain English、リズムユニット、音変化		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	プリント教材、及び聞き取り訓練テキスト Cultural Encounters (センゲージ)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	評価は、G-TELP(20%)、e-Learning学習(3Step Listening + Power Words)(20%)、小テスト(50%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。3Stepを用いてのe-Learning学習は、2回のテストをもって学習を評価し、Power Wordsはレベルを一つ上げる学習を10%とする。		
受講要件(履修条件)/Requirements	新たに学習する内容は、きちんと復習すること!		
学生へのメッセージ/Message for students	Plain Englishのプリント教材を復習し、小テストに備えること。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	9月28日 第1回 オリエンテーション		
第2回	10月5日 第2回 英語のリズム(1), 速読(phrase reading)とペアワーク(1)		
第3回	10月19日 第3回 Voice Aerobics, 速読(phrase reading)とペアワーク(1)		
第4回	10月26日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1), 速読(phrase reading) 10月30日 Power Words1回目締め切り		
第5回	11月2日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2), 速読(phrase reading)		
第6回	11月9日 3STEP1回目テスト 第6回 弱く発音される音, 速読(phrase reading)		
第7回	11月16日 第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1), 映画による聞き取り(1) (11月27日 Power Words2回目締め切り)		

第8回	11月30日 第8回 聞こえなくなる音, 映画による聞き取り(2)
第9回	12月7日 第9回 インフォメーションギャップによる <sup>h</sup> アワーク(2), 映画による聞き取り(3)
第10回	12月14日 3STEP2回目テスト 第10回 グループによるディスカッション(1), 映画による聞き取り(4)
第11回	12月21日 第11回
第12回	1月4日 G-TELP 第12回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによる <sup>h</sup> アワーク(3), 速読(phrase reading)
第13回	1月18日 第13回 つながる音, 映画による聞き取り(5), 速読(phrase reading) (1月22日 Power Words 3回目締め切り)
第14回	1月25日 第14回 なくなる音, 速読(phrase reading), 映画による聞き取り(6), retelling and summarizing
第15回	2月1日 第15回 英語の音のその他の特徴(prosodic featuresを中心として), グループによるディスカッション(2)
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011034	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (F(英2))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	奥田 阿子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	奥田 阿子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	奥田 阿子		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育 C 棟36(call2)		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a-okuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	B棟1F		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	論理的に英文の大意を素早く捉え、日本語でまとめる訓練を行う。		
授業到達目標/Goal	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語で要約ができるようになる。		
授業方法(学習指導法) / Method	毎回、プリント教材を用いてreading技能、とりわけ大意把握や要約に特化した、訓練を行う。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	プリント教材, 参考書等は授業時に指示する		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	3Step CALL System(10%), Power Words(10%), G-TELP(20%), 小テスト(20%), 課題の提出状況及び授業への取り組み(40%)		
学生へのメッセージ/Message for students	5分でもいいので、毎日英語に触れる時間を作りましょう		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction, e-learning教材の説明, sample reading		
第2回	プリント教材(1)		
第3回	プリント教材(2)		
第4回	プリント教材(3)		
第5回	プリント教材(4)		
第6回	3Step小テスト(1)(約30分程度) 発表準備		
第7回	発表		
第8回	発表の振り返り、相互評価		
第9回	プリント教材(5)		
第10回	3Step小テスト(2), プリント教材(6)		
第11回	プリント教材(7)		
第12回	G-TELP		
第13回	発表準備		
第14回	発表		
第15回	発表の振り返り、相互評価、まとめ		
第16回	期末テスト		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011035	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (F(英3))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	井石 哲也		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	井石 哲也		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	井石 哲也		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育B棟15		
対象学生(クラス等) / Object Student	F(英3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	iseki@kwassui.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-822-4107(内線257)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後に授業を実施している教室で受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英文法と英語読解基礎力養成と応用		
授業到達目標/Goal	1 英文法の基礎と英語読解力の養成と異文化理解(イギリス)。 2 英文読解の基礎力を、水産分野関連の英文読解に応用し、これにチャレンジする。		
授業方法(学習指導法)/Method	異文化理解(イギリス)のエッセイ精読によって、英文読解の基礎がためを主体とし、これを応用して、水産分野関連の英文読解を試みる。		
授業内容/Class outline/Con	第1回 受講上の注意、テキストの使用法(第1章をサンプルとして)と授業の進め方について説明を行う。第2回~第15回は英文の読解演習を行い、第16回目に定期試験を実施する。なお、6回目と10回目の授業で3step小テストを、12回目にG-TELP(共通テスト)を実施し、これらの結果を評価の一部にあてる。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Anthony Allan, Tetsuya & Reiko Iseki, Insight into Britain (Kinseido)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50点、G-TELP20点、授業における発表等10%、課外学習のe-learning 20点の配点とする。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	導入・テキストChapter 1: Animals:Fictional and Real		
第2回	Chapter 2: Exporting Sport		
第3回	Chapter 3: Literature:The Reading Boom		
第4回	Chapter 4: Eating Habits:Changing Tastes 水産分野関連の英語読解(1)		
第5回	Chapter 5: Art:Attitudes and Anonymity, 水産分野関連の英語読解(2)		
第6回	3step小テスト(1回目)、 Chapter 6: Population: Food for Thought		
第7回	Chapter 7: Antiques:Older is Often Better		
第8回	Chapter 8: Smoke-free Britain 水産分野関連の英語読解(3)		
第9回	Chapter 9: Edinburgh:A City of Festivals, 水産分野関連の英語読解(4)		
第10回	3step小テスト(2回目)、 Chapter 10:Television:Reflecting Our Lives		
第11回	Chapter 11: Structures of the Millennium 水産分野関連の英語読解(5)		
第12回	G-Telp 実施日		
第13回	Chapter 13: Education in the UK		

第14回	Chapter 14: Superstition and Beliefs 水産分野関連の英語読解(6)
第15回	Chapter 15: Pedal Power まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/01/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011036	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (P1)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中村 吏花		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	中村 吏花		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	中村 吏花		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟43		
対象学生(クラス等) / Object Student	L英6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	arthur410@hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目、学生番号、氏名を記入すること)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	arthur410@hotmail.co.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	地図を見ながら、国や地域の歴史・文化・政治について英語で学んでいきます。英語の音の特徴を確認し、ディクテーションや音読など、英語を聞き、読む訓練をします。毎回無作為に指名しますので、当たった人は英文解釈やペアでの会話発表をしてください。		
授業到達目標/Goal	基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解することができる。自分が必要とする情報を正しく適切に入手することができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業には十分を予習をして臨み、必ず辞書を持参してください(通話・メール機能の付いた電子機器の電子辞書としての使用不可)。問題の解答だけでなく、英文解釈や英文音読なども毎回無作為に指名して発表してもらいます。英語の音の特徴を確認するとともに、ディクテーションや音読など、英語を聞き・読む訓練をします。それぞれの問題のポイントと重要文法事項を解説します。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	リスニング、リーディング、音読、地図		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	笹島茂『CLIL英語で学ぶ地図と世界情勢』三修社 1800円(税別) *初回の授業時に教室で教科書販売があります。2回目以降の授業には必ずテキスト本体を入手して出席してください。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験40%、課題(ペアでの会話発表)10%、積極的な授業への参加状況10%、G-TELP20%、E-Learning20%(3StepCALL10%、PowerWords10%) 課外学習のE-Learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。		
受講要件(履修条件)/Requirements	3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います(入院・出席停止の伝染病等を除き病欠も欠席扱いとします)。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。		
学生へのメッセージ/Message for students	テキストには音声がついていますので、リーディング問題の時に英語の音声を意識してみましょう。内容がよくつかめないうちは何が分からないのかを明らかにさせてください。リスニング問題に関しては、何度も繰り返し聞いて、聞き取れた音を書き取ってみてください。継続していけば、必ず書き取れる量が増えていきます。それで自分が聞き取れるようになっていっていることが確認できると思います。		
授業計画詳細			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	Europe		
第3回	Africa		
第4回	The Middle East		
第5回	South Asia		
第6回	Russia and Its Neighboring Countries		
第7回	3step小テスト(1) BBC Learning English		
第8回	East Asia		
第9回	Southeast Asia		
第10回	North America		
第11回	Central America and the Caribbean		



第12回	3step小テスト(2) VOAとCNN Student News
第13回	GTELP試験
第14回	ペア発表
第15回	1回目から14回目の授業のまとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011037	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (P2)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	井石 哲也		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	井石 哲也		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	井石 哲也		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育B棟15		
対象学生(クラス等) / Object Student	P2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	iseki@kwassui.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-822-4107(内線257)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後に授業を実施している教室で受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語読解力養成と聞き取り(イギリス英語の会話表現等)、イギリス文化理解		
授業到達目標/Goal	英語読解力の養成とともに、現代イギリスのさまざまな文化の諸相について理解することを目標とする。		
授業方法(学習指導法)/Method	使用テキストの英文(400語前後)を、構文を把握しながら精読し、正確に理解する。またイギリス英語の会話を理解できるように、聞き取りの能力を養成する。		
授業内容/Class outline/Con	第1回 受講上の注意、テキストの使用法(第1章をサンプルとして)と授業の進め方について説明を行う。第2回~第15回は各回のトピックに従って英文の読解演習を行い、第16回目に定期試験を実施する。なお、6回目および10回目には3step小テスト、12回目の授業でG-TELP(共通テスト)を実施し、結果を評価の一部にあてる。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Anthony Allan, Tetsuya & Reiko Iseki, Insight into Britain (Kinseido)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50点、G-TELP20点、授業における発表等10%、課外学習のe-learning 20点の配点とする。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	導入・テキストChapter 1: Animals:Fictional and Real		
第2回	Chapter 2: Exporting Sport		
第3回	Chapter 3: Literature:The Reading Boom		
第4回	Chapter 4: Eating Habits:Changing Tastes		
第5回	Chapter 5: Art:Attitudes and Anonymity		
第6回	3step小テスト1回目、Chapter 6: Population: Food for Thought		
第7回	Chapter 7: Antiques:Older is Often Better		
第8回	Chapter 8: Smoke-free Britain		
第9回	Chapter 9: Edinburgh:A City of Festivals		
第10回	3step小テスト2回目、Chapter 10: Television:Reflecting Our Lives		
第11回	Chapter 11: Structures of the Millennium		
第12回	G-Telp 実施日		
第13回	Chapter 13: Education in the UK		
第14回	Chapter 14: Superstition and Beliefs		
第15回	Chapter 15: Pedal Power		
第16回	定期試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011038	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (G1)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西原 俊明		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	西原 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	西原 俊明		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	(G1のみ)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター110		
担当教員TEL/Tel	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、リスニング教材・リーディング教材として時事英語にふれる。		
授業到達目標/Goal	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。また、日本語直訳によらない英語表現、特に、Plain Englishの基礎を身につける。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。Current Topicsを扱った英字新聞記事を速読する。		
授業内容/Class outline/Con	英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。		
キーワード/Key word	Reading and listening strategies		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Better Health for Every Day (金星堂)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	評価は、G-TELP(20%)、e-learning学習(3Step Listening + Power Words)(20%)、小テスト(40%)、TOEFL単語テスト(10%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。3Stepは、2回のテストでもって評価し、Power Wordsはレベルを一つ上げる学習を10%とする。総合英語Iで受験するG-TELPをもって、その得点とする。		
受講要件(履修条件)/Requirements	毎回、復習を行うこと。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業で紹介される聞き取りのこつ等を配布される電子化教材を用いて必ず復習すること。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	4月7日 第1回 オリエンテーション 授業の進め方、及び授業で取り上げるスキルの概要説明		
第2回	4月14日 第2回 速読(phrase reading)とペアワーク(1), Fuel your body and mind.		
第3回	4月21日 第3回 速読(phrase reading)とペアワーク(2), Laughing will save you from going crazy.		
第4回	4月28日 第4回 速読(phrase reading)とペアワーク(3), The French Paradox (5月1日にPower Words1回目締め切り)		
第5回	5月12日 3STEP小テスト 第5回 速読(phrase reading)とペアワーク(4), Don't stay away from natto.		
第6回	5月19日 第6回 Turn-taking (1), Is snoring a bad sign?		
第7回	5月26日 第7回 速読(phrase reading)とペアワーク(5), Turn-taking (2)		

第8回	6月2日 第8回 速読(phrase reading)とペアワーク(6), Getting a good night sleep is a challenge. (6月5日にPower Words 2回目締め切り)
第9回	6月9日 第9回 速読(phrase reading)とペアワーク(7), Current Issues
第10回	6月16日 第10回 速読(phrase reading)とペアワーク(8), , Chocolate and its magical power.
第11回	6月23日 3STEP小テスト 第11回 速読(phrase reading)とペアワーク(9), Processed Food.
第12回	6月30日 第12回 速読(phrase reading)とペアワーク(10), Environment Health Threats.
第13回	7月7日 第13回 速読(phrase reading)とペアワーク(11), , Genetically modified food IELTS Writing入門(1)
第14回	7月14日 IELTS Writing入門(2) (7月17日にPower Words 2回目締め切り)
第15回	7月21日 第14回 速読(6) まとめ Retellingとsummarizing、semantic mapを用いた学習
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011039	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (G2)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	廣江 顕		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	廣江 顕		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	廣江 顕		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育C棟45(call3)		
対象学生(クラス等) / Object Student	G2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	論理的に大意を素早く日本語でまとめる訓練を行い、かつ英語で要約を行える基礎固めを行う。		
授業到達目標/Goal	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業の前半では、リスニングテストを行い、その後、解答・解説を行う。後半では、プリント教材を用いてreadingに特化した、論理的に大意をつかむ訓練を行う。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	reading, summary writing, listening		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	プリント教材, 参考書等は授業時に指示する		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	リスニング(20%), 3Step CALL System(10%), Power Words(10%), G-TELP(20%), TOEFL単語テスト(10%)、定期試験(30%)		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction, sample listening test, e-learning教材の説明		
第2回	Listening 1, プリント教材(1)		
第3回	Listening 2, プリント教材(1)		
第4回	Listening 3, プリント教材(2)		
第5回	3Step小テスト(1)(約30分程度), プリント教材(2)		
第6回	Listening 4, プリント教材(3)		
第7回	Listening 5, プリント教材(3)		
第8回	Listening 6, プリント教材(4)		
第9回	Listening 7, プリント教材(4)		
第10回	Listening 8, プリント教材(5)		
第11回	3Step小テスト(2), プリント教材(5)		
第12回	Listening 9, プリント教材(6)		
第13回	Listening 10, プリント教材(7)		
第14回	Listening 11, プリント教材の総復習		
第15回	まとめ		
第16回	定期試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 1
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011040	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語 (G3)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	奥田 阿子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	奥田 阿子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	奥田 阿子		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	[多文化] 2号館 5F CALL教室		
対象学生(クラス等) / Object Student	G3 再履修生の受講不可		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a-okuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	4年間の基礎となる英語力を身につけ、英語圏への留学を想定した実践的な英語の運用能力を養成する。 授業外ではインプットを重視したりリスニングを行い、授業中にはアウトプットを重視した活動を取り入れる。		
授業到達目標/Goal	情報収集を行ったものに対し、英語を用いて相手に伝えられるようになること。 自分に合った英語の学習法を見つけること。		
授業方法(学習指導法)/Method	反転授業を取り入れた授業を行う。 授業で扱う内容は授業前に学習し、内容理解をしておく。授業中は、その内容を発展させた活動を取り入れ、グループでの発表に備えた作業を行ってもらいながら英語の運用能力の養成を図ります。		
授業内容/Class outline/Con			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	3-Step CALL System (e-learning)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TOEFL単語テスト: 10%</li> <li>・期末試験: 20%</li> <li>・提出物、グループワークの成果物: 30%</li> <li>(自分たちでの評価、他グループからの評価、教員からの評価等)</li> <li>・G-TELP: 20%</li> <li>・e-learning: 20%</li> <li>(PowerWords 10%: 単語の教材のレベルを1上げること 3-Step CALL System 10%: 2回のUNITテスト)</li> </ul>		
受講要件(履修条件)/Requirements	再履修生は受講できません。		
学生へのメッセージ/Message for students	リスニング力を上げるためには、毎日少しの時間でも英語を耳にする時間を作りましょう!!		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション 教材の説明、成績についての説明 グループ作り アンケートの実施		
第2回	英語の学習方法について考える プリント教材		
第3回	英語の学習方法について考える プリント教材		
第4回	自分について考える プリント教材		
第5回	3-STEP小テスト1回目 自分について考える プリント教材		
第6回	自分について考える プリント教材		
第7回	発表準備		

第8回	発表
第9回	発表の振り返りと他グループの評価
第10回	動画や資料を通して、意思力について理解し、自らの学習に応用できるか考える プリント教材
第11回	3-STEP小テスト 2回目 動画や資料を通して、意思力について理解し、自らの学習に応用できるか考える プリント教材
第12回	動画や資料を通して、意思力について理解し、自らの学習に応用できるか考える プリント教材
第13回	10回、11回、12回の授業で得た情報をもとに発表準備を行う
第14回	発表
第15回	発表の振り返りと他グループの評価 まとめ
第16回	期末テスト